

千葉科学大学履修規程に関する細則

(目的)

第1条 この細則は、千葉科学大学履修規程で定めた別表について、とりまとめたものとする。

(種類)

第2条 別表は、下記の種類とする。

別表 1. 読み替え科目 (履修規程 第10条第4項)

別表 2. 重複履修の禁止 (履修規程 第14条)

別表 3 の 1. 教育の基礎的理解に関する科目等／教職に関する科目及び履修要件 (履修規程 第15条第2項)

別表 3 の 2. 大学が独自に設定する科目／教科又は教職に関する科目 (履修規程 第15条第2項)

別表 3 の 3. 大学が独自に設定する科目／養護又は教職に関する科目 (履修規程 第15条第2項)

別表 4. 教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する科目 (履修規程 第15条第3項)

別表 5. 養護に関する科目及び履修要件 (履修規程 第15条第4項)

別表 6. 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目に対応する本学の授業科目と単位数 (履修規程 第15条第5項)

別表 7 の 1. 博物館学芸員に関する科目 (必修科目) 及び履修要件 (履修規程 第16条第2項)

別表 7 の 2. 博物館学芸員に関する科目 (選択科目) (履修規程 第16条第3項)

別表 8. 臨床工学技士指定科目及び履修要件 (履修規程 第17条)

別表 9 の 1. 臨床検査技師指定科目 (履修規程 第18条)

別表 9 の 2. 臨床検査技師生理検査及び採血に関する科目及び履修要件 (履修規程 第18条第2項)

別表 10. 救急救命士指定科目及び履修要件 (履修規程 第19条)

別表 11. 保健師国家試験指定科目及び履修要件 (履修規程 第20条)

別表 12. 食品衛生管理者及び食品衛生監視員指定科目 (履修規程 第21条第2項)

別表 13. 日本語科目 (履修規程 第22条)

別表 14. 自由科目 (履修規程 第36条)

別表 15. 外部検定試験による単位認定 (履修規程 第43条)

別表 16. 海外研修プログラム (履修規程 第45条)

別表 17. 進級・卒業要件 (履修規程 第47条)

(改廃)

第3条 この細則の改廃は、大学協議会の審議を経て学長により行われる。

第4条 この細則が改正されたときは、直ちに学生に告示される。

附 則 (平成31年3月7日 第11回大学協議会)

この細則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則 (令和元年11月7日 第7回大学協議会)

この細則は、令和元年11月7日から施行し、平成31年4月1日から適用する。

附 則（令和2年3月5日 第11回大学協議会）

この細則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則（令和2年5月14日 第2回大学協議会）

この細則は、令和2年5月14日から施行し、令和2年4月1日から適用する。

附 則（令和3年3月4日 第11回大学協議会）

この細則は、令和3年4月1日から適用する。

附 則（令和4年4月14日 第1回大学協議会）

この細則は、令和4年4月14日から施行し、令和4年4月1日から適用する。

附 則（令和4年11月10日 第7回大学協議会）

この細則は、令和4年11月10日から施行し、令和4年4月1日から適用する。

附 則（令和5年3月2日 第11回大学協議会）

この細則は、令和5年4月1日から適用する。

別表 1 (第 10 条関係) 読み替え科目

1 一般基礎科目

～2013	2014～2018	2019	備考
英会話Ⅰ (2)	実用英会話Ⅰ (2)		2015年度より読み替え開始
英会話Ⅱ (2)	実用英会話Ⅱ (2)		2015年度より読み替え開始
日本語 (1)	日本語Ⅰ (1)		2014年度より読み替え開始
	日本語Ⅱ (1)		2014年度より読み替え開始
日本語会話 (1)	日本語Ⅲ (2)		2015年度より読み替え開始
	日本語Ⅳ (2)		2015年度より読み替え開始
日本語理解 (1)	日本語理解Ⅰ (1)		2014年度より読み替え開始
日本語表現 (1)	日本語理解Ⅱ (1)		2014年度より読み替え開始
企業等体験実習 (3) ※		インターンシップ (3) ※	2021年度より読み替え開始

※薬学部は5年次

() 内は開講学年

2 教職科目

～2011	2012	2013	2014～2018	2019	備考
教育学原論 (1)			教育原論 (1)		2014年度より読み替え開始
道德教育の研究 (2)	道德教育の理論と方法 (2)			道德教育の理論及び方法 (2)	2020年度より読み替え開始
特別活動の研究 (2)	特別活動の理論と方法 (2)			(廃止)	2013年度より読み替え開始
生徒指導の研究 (進路指導を含む) (2)	生徒指導の理論と方法 (進路指導を含む) (2)			(廃止)	2013年度より読み替え開始
教育相談の研究 (1)	教育相談の理論と方法 (1)			教育相談の理論及び方法 (1)	2019年度より読み替え開始
教育の方法と技術 (2)				教育の方法及び技術 (2)	2020年度より読み替え開始

() 内は開講学年

3 博物館学芸員科目

2014～2018	2019～	備考
博物館実習 (3)	博物館実習Ⅰ (3)	2021年度より読み替え開始
	博物館実習Ⅱ (3)	2021年度より読み替え開始

() 内は開講学年

4 薬学科の専攻科目 (～2018年度)

2013～2014	2015～2018	備考	
薬物治療学Ⅲ (4)	分子創薬・新薬論 (4)	2018年度より読み替え開始	
病態生理学 (4)	病態生理学Ⅰ (3)	2017年度より読み替え開始	
医薬品開発 (4)	薬物治療学Ⅳ (4)	臨床生理・診断学 (4)	2018年度より読み替え開始
特別実習 (6)	卒業研究 (4～6)	2020年度より読み替え開始	

高齢者薬剤学 (6)	個別化医療学 (6)	2020年度より読み替え開始
情報薬学(4)	医薬品情報・評価学(4)	2018年度より読み替え開始

※2019年度より、新カリキュラム

() 内は開講学年

薬学科の専攻科目 (2019年度～)

2019～2020	2021～2022	2023～	備考
基礎物理学(1)	基礎薬学物理(1)		2021年度より読み替え開始
生薬学Ⅰ(2)	生薬学(2)	生薬学Ⅰ(2)	2022年度より読み替え開始
薬理学導入(2)	基礎薬理学演習(2)	削除	2022年度より読み替え開始
再生移植医療学(4)	再生移植遺伝子医療・薬物療法学(4)	再生移植遺伝子医療・薬物療法学(6)	2024年度より読み替え開始
薬物動態学演習(4)	薬物動態学Ⅲ(4)	薬の生体内運命Ⅲ(3)	2025年度より読み替え開始
医学概論(3)	臨床医学各論(3)		2023年度より読み替え開始
生化学・分子生物学・病態生化学実習(2)	生命薬学実習Ⅰ(2)	削除	2022年度より読み替え開始
薬品分析・物理化学実習(2)	物理系薬学実習(2)	削除	2022年度より読み替え開始
薬品合成化学実習(2)	化学系薬学実習Ⅰ(2)	削除	2022年度より読み替え開始
薬用資源学実習(2)	化学系薬学実習Ⅱ(2)	削除	2022年度より読み替え開始
免疫／微生物学実習(3)	生命薬学実習Ⅱ(3)	削除	2023年度より読み替え開始
薬理学・薬物治療学実習(3)	医療薬学実習Ⅰ(3)	削除	2023年度より読み替え開始
薬剤学・化粧品科学実習(3)	医療薬学実習Ⅱ(3)	削除	2023年度より読み替え開始
薬学入門(1)	薬学入門(1)		2023年度より読み替え開始
情報処理入門(1)			
機能形態学(1)	解剖生理学Ⅰ(1)		2023年度より読み替え開始
生体機能調節学(2)	解剖生理学Ⅱ(2)		2024年度より読み替え開始
分子生物学Ⅰ(2)	細胞生物学Ⅰ(1)		2023年度より読み替え開始
分子生物学Ⅱ(3)	細胞生物学Ⅱ(2)		2024年度より読み替え開始
遺伝子工学(2)	分子生物学・遺伝子工学(3)		2025年度より読み替え開始
医薬品化学(3)	構造と薬物(2)		2024年度より読み替え開始
病態生化学(3)	臨床生化学(3)		2025年度より読み替え開始
薬物動態学Ⅰ(3)	薬の生体内運命Ⅰ(2)		2025年度より読み替え開始
薬物動態学Ⅱ(3)	薬の生体内運命Ⅱ(3)		2025年度より読み替え開始
医薬品情報・評価学(4)	情報リテラシーと医療(4)		2026年度より読み替え開始
一般用医薬品学(OTC)(4)	セルフメディケーション学(4)		2026年度より読み替え開始
薬局管理学(4)	地域医療学(4)		2026年度より読み替え開始
臨床栄養学(4)	臨床薬学(4)		2026年度より読み替え開始

ヒューマニズムⅠ (1)	医療人の使命 (1)	2023 年度より読み替え開始
ヒューマニズムⅡ (2)	ヒューマニズム (2)	2024 年度より読み替え開始
医療コミュニケーションⅡ (4)	多職種連携とプロフェッショナルリズム (4)	2026 年度より読み替え開始
医療コミュニケーションⅠ (3)	グローバルコミュニケーション (5)	2027 年度より読み替え開始
薬事関係法規 (4)	薬剤師の責務 (2)	2024 年度より読み替え開始
	薬剤師と法律 (4)	2026 年度より読み替え開始
香粧品学Ⅰ (2)	香粧品学 (2)	2024 年度より読み替え開始

() 内は開講学年

5 危機管理学科（危機管理システム学科）の専攻科目

2016～2018	2019～	2022～	備考
危機管理システム学研究法Ⅰ (2)	危機管理学研究法Ⅰ (2)		2020 年度より読み替え開始
危機管理システム学研究法Ⅱ (2)	危機管理学研究法Ⅱ (2)		2020 年度より読み替え開始
危機管理システム学特講Ⅰ (3)	危機管理学特講Ⅰ (3)		2021 年度より読み替え開始
危機管理システム学特講Ⅱ (3)	危機管理学特講Ⅱ (3)		2021 年度より読み替え開始
危機管理システム学演習Ⅰ (3)	危機管理学演習Ⅰ (3)		2021 年度より読み替え開始
危機管理システム学演習Ⅱ (3)	危機管理学演習Ⅱ (3)		2021 年度より読み替え開始
地理情報 (GIS) 入門 (3)		地理情報システム論 (3)	2024 年度より読み替え開始

() 内は開講学年

6 保健医療学科（医療危機管理学科）の専攻科目

読替なし。

7 航空技術危機管理学科の専攻科目

2017～2021	2022～	備考
機械加工 (2)	材料学 (2)	2023 年度より読み替え開始

() 内は開講学年

8 動物危機管理学科の専攻科目

2019	2020	2021	2022～	備考
HANB の科学実習 (1)		動物行動学実習 (1)		2021 年度より読み替え開始
動物実務実習Ⅰ (2)			動物実務実習 (2)	2023 年度より読み替え開始
動物看護学入門 (1)			動物看護学入門Ⅰ (1)	2022 年度より読み替え開始
			動物看護学入門Ⅱ (1)	2022 年度より読み替え開始
	動物飼育実習 (1)		動物適正飼養実習 (1)	2022 年度より読み替え開始
動物実務実習Ⅱ (3)			動物看護総合実習 (3)	2024 年度より読み替え開始

動物危機管理入門 (1)	動物危機管理入門 I (1)	2022 年度より読み替え開始
	動物危機管理入門 II (1)	2022 年度より読み替え開始

() 内は開講学年

9 看護学科の専攻科目

～2021	2022～	備考
健康と社会の仕組み I (保健福祉行政論) (2)	健康と社会の仕組み I (保健医療福祉行政論) (2)	2023 年度より読み替え開始
健康と社会の仕組みIV (情報危機管理) (1)	健康と社会の仕組みIII (情報危機管理) (1)	2022 年度より読み替え開始
基盤看護技術論 II (フィジカルアセスメント・コミュニケーション) (1)	基盤看護技術論 II (フィジカルアセスメント I) (1)	2022 年度より読み替え開始
基盤看護技術論IV (看護過程) (2)	基盤看護技術論IV (看護過程・フィジカルアセスメント II) (2)	2023 年度より読み替え開始
成人病態治療学 I (2)	病態治療学 III (2)	2023 年度より読み替え開始
成人病態治療学 II (2)	病態治療学 II (2)	2023 年度より読み替え開始
老年病態治療学 (2)	病態治療学 I (2)	2023 年度より読み替え開始
成人急性期看護援助論 I (2)	急性期看護援助論 I (2)	2023 年度より読み替え開始
成人急性期看護援助論 II (3)	急性期看護援助論 II (2)	2023 年度より読み替え開始
成人慢性期看護援助論 I (2)	慢性期看護援助論 I (2)	2023 年度より読み替え開始
成人慢性期看護援助論 II (3)	慢性期看護援助論 II (2)	2023 年度より読み替え開始
成人急性期看護学演習 (3)	急性期看護学演習 (3)	2024 年度より読み替え開始
成人慢性期看護学演習 (3)	慢性期看護学演習 (3)	2024 年度より読み替え開始
公衆衛生看護学概論 II (養護概説) (2)	公衆衛生看護学概論 II (4)	2025 年度より読み替え開始
公衆衛生看護学方法論 IV (学校保健) (3)	公衆衛生看護学方法論 IV (4)	2025 年度より読み替え開始
看護の統合と実践 (看護研究方法論) (4)	看護研究方法論 (4)	2025 年度より読み替え開始
看護の統合と実践演習 (卒業研究) (4)	卒業研究 (4)	2025 年度より読み替え開始
看護の統合と実践実習 (4)	統合実習 (4)	2025 年度より読み替え開始

() 内は開講学年

別表 2 (第 14 条関係) 重複履修の禁止

1)	薬学科の「早期体験学習 (銚子学)」、「早期体験学習・銚子学」と一般基礎科目の「銚子学」
2)	医療危機管理学科の「人畜共通感染症学」及び保健医療学科 (2019 年度入学生まで) の「人畜共通感染症学」と動物危機管理学科の「人獣共通感染症学」
3)	動物危機管理学科 (2015 年度入学生まで) の「環境科学」と看護学科の「いのちと生活 III (生活と危機管理)」

別表3の1（第15条第2項関係）（教育の基礎的理解に関する科目等／教職に関する科目及び履修要件）

1 中学校教諭一種免許状及び高等学校教諭一種免許状における教職に関する科目に対応する大学の授業科目を次のとおりとする。

[平成31（2019）年度入学生～令和3年（2021）年度入学生]

科目	各科目に含めることが必要な事項	最低 修得 単位数	授業科目名	単位数		備考
				必	選	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原論	2		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職概論	2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育行政学	2		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1		
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中10 高8	道徳教育の理論及び方法	2		中免のみ
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法及び特別活動の指導法	2		
	特別活動の指導法					
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		教育の方法及び技術	2		
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導の理論及び方法	2		
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談の理論及び方法	2		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		進路指導論	1		
教育実践に関する科目	教育実習	中5 高3	教育実習Ⅰ	2		「事前事後指導1単位を含む」
			教育実習Ⅱ		1	中免のみ必修
			教育実習Ⅲ	2		
			教育実習Ⅳ		1	中免のみ必修
	学校体験活動					
教職実践演習	2	教職実践演習（中・高）	2			

- ・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む）
 中学 30単位
 高校 26単位
- ・教員の免許状取得のための選択科目
 中学 0単位
 高校 2単位

[平成 30 (2018) 年度以前入学生]

免許法に定める科目				本学の開講科目					
教職科目		最低修得 単位数		授業科目	単 位 数	必修・選択		年 次	備考
						中	高		
教職の意義等 に関する科目	教職の意義及び教員の役割 教員の職務内容（研修、含む 及び身分保障等を含む。） 進路選択資する各種の機会の 提供等	2	2	教職概論	2	◎	◎	2	
教育の基礎理 論に関する科 目	教育の理念並びに教育に関する 歴史及び思想 幼児、児童及び生徒の心身の 発達及び学習の過程（障害の ある幼児、児童及び生徒の心 身の発達及び学習の過程を含 む。） 教育に関する社会的、制度的 又は経営的事項	6	6	教育原論	2	◎	◎	1	
				教育心理学	2	◎	◎	1	
				教育行政学	2	◎	◎	2	
				生涯学習論	2	○	○	3	
教育課程（及 び指導法）に 関する科目	教育課程の意義及び編成の方 法 各教科の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術（情報機 器及び教材の活用を含む。） 道徳の指導法 ※小学校教 諭・中学校教諭のみ	12	6	教育課程論	2	◎	◎	2	
				理科教育法Ⅰ	2	◎	◎	2	
				理科教育法Ⅱ	2	◎	○	2	
				理科教育法Ⅲ	2	○	○	3	
				理科教育法Ⅳ	2	○	○	3	
				道徳教育の理論と方法※	2	◎		2	
				特別活動の理論と方法	2	◎	◎	2	
				教育の方法と技術	2	◎	◎	2	
生徒指導、教 育相談（及び 進路指導等） に関する科目	生徒指導の理論及び方法 教育相談（カウンセリングに 関する基礎的な知識を含 む。）の理論及び方法 進路指導の理論及び方法	4	4	生徒指導の理論と方法 （進路指導を含む）	2	◎	◎	2	
				教育相談の理論と方法	2	◎	◎	1	
教育実習		1	1	教育実習Ⅰ	2	◎	◎	3	
				教育実習Ⅱ	1	◎	○	3	
				教育実習Ⅲ	2	◎	◎	4	
				教育実習Ⅳ	1	◎	○	4	
教職実践演習		2	2	教職実践演習（中・高）	2	◎	◎	4	
合 計		31	23			◎：必修、○：選択			

2 「教育実習Ⅰ」「教育実習Ⅱ」「教育実習Ⅲ」「教育実習Ⅳ」「教職実践演習（中・高）」を履修する者は、次の要件を充足するものとする。

[平成 31（2019）年度入学生～令和 3 年（2021）年度入学生]

授業科目	履修要件
教育実習Ⅰ	(1) 教育の基礎的理解に関する科目等について「教育原論」「教育心理学」「教職概論」を含む 20 単位以上を修得していること。 (2) 教科及び教科の指導法に関する科目について次の要件を充足していること。 「物理学Ⅰ」「物理学Ⅱ」「化学Ⅰ」「化学Ⅱ」「生物学Ⅰ」「生物学Ⅱ」「地学Ⅰ」「地学Ⅱ」の 8 科目 16 単位のうち、14 単位以上修得し、かつ「物理学実験」「化学実験」「生物学実験」「地学実験」の 4 科目 4 単位のうち、3 単位以上修得していること。 (3) 教育職員免許法施行規則第 6 6 条の 6 に定める科目について、必要単位 8 単位のうち「日本国憲法」「スポーツ実技」を含む 6 単位以上を修得していること。 (4) 懲戒処分を受けていないこと。 (5) 健康状態その他の事由により実習継続が困難でないこと。注 1)
教育実習Ⅱ	「教育実習Ⅰ」を修得又は履修中であること。
教育実習Ⅲ 教育実習Ⅳ	(1) 教育の基礎的理解に関する科目等について、2 年次までの必修科目をすべて修得していること。 (2) 「教育実習Ⅰ」「教育実習Ⅱ」を修得又は履修中であること。 (3) 教科及び教科の指導法に関する科目の必修科目をすべて修得していること。 (4) 教育職員免許法施行規則第 6 6 条の 6 に定める科目について、「日本国憲法」「スポーツ実技」を含む 8 単位以上を修得していること。 (5) 中学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、介護等体験を修了していること。 (6) 懲戒処分を受けていないこと。 (7) 健康状態その他の事由により実習継続が困難でないこと。注 1)
教職実践演習（中・高）	「教育実習Ⅰ」「教育実習Ⅱ」「教育実習Ⅲ」「教育実習Ⅳ」を修得又は履修中であること。

注 1) 実習継続の判断は、教職・学芸員課程運営委員会が行う。

[平成 30（2018）年度以前入学生]

授業科目	履修要件
教育実習Ⅰ	(1) 教職に関する科目について「教育原論」「教育心理学」「教職概論」を含む 20 単位以上を修得していること。 (2) 教科に関する科目について次の要件を充足していること。 ア 「物理学Ⅰ」「物理学Ⅱ」「化学Ⅰ」「化学Ⅱ」「生物学Ⅰ」「生物学Ⅱ」「地学Ⅰ」「地学Ⅱ」の 8 科目 16 単位のうち、14 単位以上修得し、かつ「物理学実験」「化学実験」「生物学実験」「地学実験」の 4 科目 4 単位のうち、3 単位以上修得していること。 イ 上記以外その他、選択科目を 8 単位以上修得していること。 (3) 教育職員免許法施行規則第 6 6 条の 6 に定める科目について、必要単位 8 単位のうち「日本国憲法」「スポーツ実技」を含む 6 単位以上を修得していること。 (4) 懲戒処分を受けていないこと。 (5) 健康状態その他の事由により実習継続が困難でないこと。注 1)
教育実習Ⅱ	「教育実習Ⅰ」を修得又は履修中であること。
教育実習Ⅲ 教育実習Ⅳ	(1) 教職に関する科目について、2 年次までの必修科目をすべて修得していること。 (2) 「教育実習Ⅰ」「教育実習Ⅱ」を修得又は履修中であること。 (3) 教科に関する科目の必修科目をすべて修得していること。 (4) 教育職員免許法施行規則第 6 6 条の 6 に定める科目について、「日本国憲法」「スポーツ実技」を含む 8 単位以上を修得していること。 (5) 中学校教諭一種免許状を取得しようとする者は、介護等体験を修了していること。 (6) 懲戒処分を受けていないこと。

	(7) 健康状態その他の事由により実習継続が困難でないこと。注1)
教職実践演習 (中・高)	「教育実習Ⅰ」「教育実習Ⅱ」「教育実習Ⅲ」「教育実習Ⅳ」を修得又は履修中であること。

注2) 実習継続の判断は、教職・学芸員課程運営委員会が行う。

3 養護教諭一種免許状における教職に関する科目に対応する本学の授業科目を次のとおりとする。

[平成31(2019)年度入学生～令和3年(2021)年度入学生]

科目	各科目に含めることが必要な事項	最低 修得 単位数	授業科目名	単位数		備考
				必	選	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	8	教育原論	2		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職概論	2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育行政学	2		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1		
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論	2		
道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	6	道徳教育の理論及び方法	2		
			総合的な学習の時間の指導法及び特別活動の指導法	2		
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育の方法及び技術	2		
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導の理論及び方法	2		
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談の理論及び方法	2				
教育実践に関する科目	養護実習	5	養護実習事前事後指導	1		
			養護実習Ⅰ	2		
			養護実習Ⅱ	2		
	学校体験活動					
	教職実践演習	2	教職実践演習(養護教諭)	2		

・教員の免許状取得のための必修科目(選択必修科目の単位数を含む) 28単位

・教員の免許状取得のための選択科目 0単位

[平成 30 (2018) 年度以前入学生]

免許法に定める科目		本学の開講科目					
教職科目	最低 修得 単位	授業科目	単 位 数	必 修 ・ 選 択	年 次	備考	
教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割 教員の職務内容（研修、含む及び身分保障等を含む。） 進路選択資する各種の機会の提供等	2	教職概論	2	◎	2	
教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。） 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	4	教育原論	2	◎	1	
			教育心理学	2	◎	1	
			教育行政学	2	◎	2	
			生涯学習論	2	○	3	
教育課程に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法 道徳及び特別活動に関する内容 教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	4	教育課程論	2	◎	2	
			道徳教育の理論と方法	2	◎	3	
			特別活動の理論と方法	2	◎	2	
			教育の方法と技術	2	◎	3	
生徒指導、教育相談に関する科目	生徒指導の理論及び方法 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	4	生徒指導の理論と方法（養護教諭）	2	◎	1	
			教育相談の理論と方法	2	◎	1	
養護実習		5	養護実習事前事後指導	1	◎	3	
			養護実習Ⅰ	2	◎	3	
			養護実習Ⅱ	2	◎	4	
教職実践演習		2	教職実践演習（養護教諭）	2	◎	4	
合 計		21					◎：必修、○：選択

4 「養護実習Ⅰ」「養護実習Ⅱ」「教職実践演習（養護教諭）」を履修する者は、次の要件を充足するものとする。

[平成 31 (2019) 年度入学生～令和 3 年 (2021) 年度入学生]

授業科目	履修要件
養護実習Ⅰ	(1) 教育の基礎的理解に関する科目について、2年次までの必修科目をすべて修得していること。 (2) 「養護実習事前事後指導」を修得又は履修中であること。 (3) 養護に関する科目について、2年次までの必修科目をすべて修得し、かつ、3年次春学期の必修科目を履修中であること。ただし、3年次春学期の必修科目が修得できない場合、「養護実習Ⅰ」の履修を取り消すものとする。 (4) 教育職員免許法施行規則第6条の6に定める科目について、「日本国憲法」「スポーツ実技」を含む8単位以上を修得していること。 (5) 看護学部看護学科の専攻科目「公衆衛生看護方法論Ⅰ」を修得、若しくは「公衆衛生看護方法論Ⅲ」を履修中であること。ただし、上記2科目のうち1科目も修得できない場合は、「養護実習Ⅰ」の履修を取り消すものとする。 (6) 懲戒処分を受けていないこと。 (7) 健康状態その他の事由により実習継続が困難でないこと。注1)

養護実習Ⅱ	「養護実習Ⅰ」を修得していなければならない。
教職実践演習（養護教諭）	「養護実習Ⅰ」「養護実習Ⅱ」を修得又は履修中であること。

注1) 実習継続の判断は、教職・学芸員課程運営委員会が行う。

[平成30（2018）年度以前入学生]

授業科目	履修要件
養護実習Ⅰ	(1) 教職に関する科目について、2年次までの必修科目をすべて修得していること。 (2) 「養護実習事前事後指導」を修得又は履修中であること。 (3) 養護に関する科目について、2年次までの必修科目をすべて修得し、かつ、3年次春学期の必修科目を履修中であること。ただし、3年次春学期の必修科目が修得できない場合、「養護実習Ⅰ」の履修を取り消すものとする。 (4) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目について、「日本国憲法」「スポーツ実技」を含む8単位以上を修得していること。 (5) 看護学部看護学科の専攻科目「公衆衛生看護方法論Ⅰ」を修得、若しくは「公衆衛生看護方法論Ⅲ」を履修中であること。ただし、上記2科目のうち1科目も修得できない場合は、「養護実習Ⅰ」の履修を取り消すものとする。 (6) 懲戒処分を受けていないこと。 (7) 健康状態その他の事由により実習継続が困難でないこと。注1)
養護実習Ⅱ	「養護実習Ⅰ」を修得していなければならない。
教職実践演習（養護教諭）	「養護実習Ⅰ」「養護実習Ⅱ」を修得又は履修中であること。

注1) 実習継続の判断は、教職・学芸員課程運営委員会が行う。

別表3の2（第15条第2項関係）（大学が独自に設定する科目／教科又は教職に関する科目）

[平成31（2019）年度入学生～令和3年（2021）年度入学生]（大学が独自に設定する科目）

中学校一種免許状(理科)

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必	選	
大学が独自に設定する科目	介護等体験の研究		2	「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低取得単位を越えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて4単位以上を取得
	生涯学習論		2	
	理科教育基礎演習		1	
	理科教育実践演習		1	
	教職理科演習Ⅰ		1	
	教職理科演習Ⅱ		1	
	教職理科演習Ⅲ		1	
	教職理科演習Ⅳ		1	
学校安全教育		2		

- ・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む） 0単位
- ・教員の免許状取得のための選択科目 12単位
- ・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている単位数の合計 18単位

高校一種免許状(理科)

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必	選	
大学が独自に設定する科目	介護等体験の研究		2	「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低取得単位を越えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は最低取得単位を越えて履修した「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上を取得
	生涯学習論		2	
	道徳教育の理論及び方法		2	
	理科教育基礎演習		1	
	理科教育実践演習		1	
	教職理科演習Ⅰ		1	
	教職理科演習Ⅱ		1	
	教職理科演習Ⅲ		1	
	教職理科演習Ⅳ		1	
学校安全教育		2		

- ・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む） 0 単位
- ・教員の免許状取得のための選択科目 14 単位
- ・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている単位数の合計 24 単位

[平成 30 (2018) 年度以前入学生] (教科又は教職に関する科目)

免許法施行規則に定める科目区分等			本学における開講科目					
科目	最低修得単位数		授業科目	単位数	必修選択		年次	備考
	中	高			中	高		
教科又は教職に関する科目	8	16	介護等体験の研究	2	◎	○	1	中免は必修
			道徳教育の理論と方法※	2		○	2	高免のみ
			「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位数		「教科に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位数			
合計	8	16	必修：◎、選択：○					

※道徳教育の理論と方法は、中学校教諭一種免許状においては「教職に関する科目」の必修科目である。高等学校教諭一種免許状においては、「教科又は教職に関する科目」の選択科目として修得できる。

別表 3 の 3 (第 15 条第 2 項関係) (大学が独自に設定する科目/養護又は教職に関する科目)

[平成 31 (2019) 年度入学生～令和 3 年 (2021) 年度入学生] (大学が独自に設定する科目)

科目区分	授業科目	単位数		備考
		必	選	
大学が独自に設定する科目	介護等体験の研究		2	「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低取得単位を越えて履修した「養護に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて7単位以上を取得
	生涯学習論		2	
	学校安全教育		2	

- ・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む） 0 単位
- ・教員の免許状取得のための選択科目 6 単位
- ・他の科目区分の単位数のうち最低修得単位数を超えている単位数の合計 16 単位

[平成 30 (2018) 年度以前入学生] (教科又は教職に関する科目)

免許法施行規則に定める科目区分等		本学の開講科目				
科目	最低修得 単位数	授業科目	単位数	必修選択	年次	備考
養護又は教職に関する科目	7	介護等体験の研究	2	○	1	
		「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位数				
		「養護に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位数				
合計	7	必修：◎、選択：○				

別表4（第15条第3項関係）（教科及び教科の指導法に関する科目／教科に関する科目）

危機管理学部動物危機管理学科における、教育職員免許状施行規則に定める教科に関する科目は次のとおりである。

[令和2（2020）年度入学生～令和3年（2021）年度入学生]

中学校一種免許状(理科)

科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	最低取得単位数	単位数		備考	
				必	選		
教科及び教科の指導法に関する科目	物理学	物理学Ⅰ	28	2			
		物理学Ⅱ		2			
	物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	物理学実験		1			
	化学	化学Ⅰ		2			
		化学Ⅱ		2			
		機器分析学			2		
	化学実験(コンピュータ活用を含む。)	化学実験		1			
	生物学	生物学Ⅰ		2			
		生物学Ⅱ		2			
		動物学			2		
		動物機能形態学			2		
		実験動物学Ⅰ			2		
		実験動物学Ⅱ			2		
		生態学			2		
	生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	生物学実験		1			
		動物機能形態学実習			1		
		実験動物学実習			1		
	地学	地学Ⅰ		2			
		地学Ⅱ		2			
	地学実験(コンピュータ活用を含む。)	地学実験		1			
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目						
	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	理科教育法Ⅰ		2			
		理科教育法Ⅱ		2			
理科教育法Ⅲ		2					
理科教育法Ⅳ		2					

・教員の免許状取得のための必修科目（選択必修科目の単位数を含む） 28単位

・教員の免許状取得のための選択科目 16単位

高校一種免許状(理科)

科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	最低 取得 単位 数	単位数		備考	
				必	選		
教科 及 び 教科 の 指 導 法 に 関 する 科 目	物理学	物理学Ⅰ	24	2			
		物理学Ⅱ		2			
	化学	化学Ⅰ		2			
		化学Ⅱ		2			
		機器分析学			2		
	生物学	生物学Ⅰ		2			
		生物学Ⅱ		2			
		動物学			2		
		動物機能形態学			2		
		実験動物学Ⅰ			2		
		実験動物学Ⅱ			2		
		生態学			2		
	地学	地学Ⅰ		2			
		地学Ⅱ		2			
	物理学実験(コンピュータ活用を含む。) 化学実験(コンピュータ活用を含む。) 生物学実験(コンピュータ活用を含む。) 動物機能形態学実習 地学実験(コンピュータ活用を含む。)	物理学実験		1			
		化学実験		1			
		生物学実験		1			
		動物機能形態学実習			1		
		実験動物学実習			1		
		地学実験		1			
		地学実験		1			
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目						
	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	理科教育法Ⅰ		2			
		理科教育法Ⅱ		2			
		理科教育法Ⅲ			2		
		理科教育法Ⅳ			2		

・教員の免許状取得のための必修科目(選択必修科目の単位数を含む) 24単位

・教員の免許状取得のための選択科目 20単位

[平成 31 (2019) 年度入学生]

中学校一種免許状(理科)

科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	最低取得単位数	単位数		備考		
				必	選			
教科及び教科の指導法に関する科目	物理学	物理学Ⅰ	28	2				
		物理学Ⅱ		2				
	物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	物理学実験		1				
	化学	化学Ⅰ		2				
		化学Ⅱ		2				
		機器分析学			2			
	化学実験(コンピュータ活用を含む。)	化学実験		1				
	生物学	生物学Ⅰ		2				
		生物学Ⅱ		2				
		動物学			2			
		動物機能形態学			2			
		実験動物学Ⅰ			2			
		実験動物学Ⅱ			2			
		動物寄生虫学			2			
		生態学			2			
	生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	生物学実験		1				
		動物機能形態学実習			1			
		実験動物学実習			1			
	地学	地学Ⅰ		2				
		地学Ⅱ		2				
	地学実験(コンピュータ活用を含む。)	地学実験		1				
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目							
	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	理科教育法Ⅰ		2				
理科教育法Ⅱ		2						
理科教育法Ⅲ		2						
理科教育法Ⅳ		2						

- ・教員の免許状取得のための必修科目 (選択必修科目の単位数を含む) 28 単位
- ・教員の免許状取得のための選択科目 16 単位

高校一種免許状(理科)

科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	最低 取得 単位 数	単位数		備考
				必	選	
教科及び教科の指導法に関する科目	物理学	物理学Ⅰ	24	2		
		物理学Ⅱ		2		
	化学	化学Ⅰ		2		
		化学Ⅱ		2		
		機器分析学			2	
	生物学	生物学Ⅰ		2		
		生物学Ⅱ		2		
		動物学			2	
		動物機能形態学			2	
		実験動物学Ⅰ			2	
		実験動物学Ⅱ			2	
		動物寄生虫学			2	
		生態学			2	
	地学	地学Ⅰ		2		
		地学Ⅱ		2		
	物理学実験(コンピュータ活用を含む。) 化学実験(コンピュータ活用を含む。) 生物学実験(コンピュータ活用を含む。) 動物機能形態学実習 実験動物学実習 地学実験(コンピュータ活用を含む。)	物理学実験		1		
		化学実験		1		
		生物学実験		1		
		動物機能形態学実習			1	
		実験動物学実習			1	
		地学実験		1		
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目					
	各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	理科教育法Ⅰ		2		
		理科教育法Ⅱ		2		
		理科教育法Ⅲ			2	
		理科教育法Ⅳ			2	

- ・教員の免許状取得のための必修科目(選択必修科目の単位数を含む) 24単位
- ・教員の免許状取得のための選択科目 20単位

[平成 30 (2018) 年度以前入学生]

免許法に定める科目区分等			本学の開講科目			
科 目	最低修得 単 位 数		授 業 科 目	単 位 数	年 次	備 考
	中	高	◎印：免許状取得に必要な必修科目			
物理学	1	1	◎物理学Ⅰ ◎物理学Ⅱ	2 2	1 1	
化学	1	1	◎化学Ⅰ ◎化学Ⅱ 機器分析学	2 2 2	1 1 2	
生物学	1	1	◎生物学Ⅰ ◎生物学Ⅱ 動物学 動物機能形態学 実験動物学Ⅰ 実験動物学Ⅱ 動物寄生虫学 生態学	2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 2 2 2 3 2	
地学	1	1	◎地学Ⅰ ◎地学Ⅱ	2 2	1 1	
物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1	1	◎物理学実験	1	2	コンピュータ活用を含む。
化学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1		◎化学実験	1	2	コンピュータ活用を含む。
生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1		◎生物学実験 動物機能形態学実習 実験動物学実習	1 1 1	2 2 2	コンピュータ活用を含む。
地学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1		◎地学実験	1	2	コンピュータ活用を含む。
合 計	20	20	上記科目より20単位以上修得すること。			

別表5 (第15条関係) (養護に関する科目及び履修要件)

看護学部看護学科における、教育職員免許状施行規則に定める養護に関する科目に対応する大学の授業科目は次のとおりである。

[平成31(2019)年度入学生～令和3年(2021)年度入学生]

科目区分	各科目に含めること が必要な事項	最低 取得 単位数	授業科目	単位数		備考	
				必	選		
養護 に 関 す る 科 目	衛生学・公衆衛生学 (予防医学を含む。)	4	いのちと生活Ⅱ(疫学)	2			
			公衆衛生看護学概論Ⅰ	1			
			感染看護学	1			
	学校保健	2	2	公衆衛生看護学方法論Ⅳ(学校保健)	2		
	養護概説	2	2	公衆衛生看護学概論Ⅱ(養護概説)	2		
	健康相談活動の理論・健康相談活動の方法	2		公衆衛生看護学方法論Ⅰ		2	「公衆衛生看護学方法論Ⅰ」、「公衆衛生看護学方法論Ⅲ」より2単位選択必修
				公衆衛生看護学方法論Ⅲ		2	
	栄養学(食品学を含む。)	2	2	いのちと生活Ⅰ(栄養学)	2		
	解剖学・生理学	2		からだの構造と機能Ⅰ(解剖学)	1		
				からだの構造と機能Ⅱ(生理学)	2		
	「微生物学、免疫学、薬理概論」	2		いのちのしくみⅡ(微生物学)	1		
				健康の回復促進Ⅱ(薬理学)	2		
	精神保健	2		精神看護学概論	1		
				精神看護学援助論Ⅱ	1		
	看護学(臨床実習及び救急処置を含む。)	10		基盤看護学概論	2		
				看護理論	2		
				小児看護学概論	1		
			母性看護学概論	1			
			小児看護学援助論Ⅰ	1			
			小児看護学援助論Ⅱ	1			
			基盤看護学実習Ⅰ	1			
			基盤看護学実習Ⅱ	2			
			在宅看護学概論	1			
			在宅看護学援助論Ⅰ	1			
	成人急性期看護学援助論Ⅰ	1					
	成人急性期看護学援助論Ⅱ	1					

- ・教員の免許状取得のための必修科目 (選択必修科目の単位数を含む) 35単位
- ・教員の免許状取得のための選択科目 2単位

[平成 30 (2018) 年度以前入学生]

免許法に定める科目区分等		本学の開講科目				
科 目	最低 修得 単位 数	授 業 科 目		単 位 数	年 次	備 考
		◎印：免許状取得に必要な必修科目	○印：免許状取得に必要な選択必修科目			
衛生学及び公衆衛生学 (予防医学を含む。)	4	◎いのちと生活Ⅱ (疫学)		2	2	
		◎公衆衛生看護学概論Ⅰ		1	2	
		◎感染看護学		1	3	
学校保健	2	◎公衆衛生看護学方法論Ⅳ (学校保健)		2	3	
養護概説	2	◎公衆衛生看護学概論Ⅱ (養護概説)		2	2	
健康相談活動の理論及び方法	2	○公衆衛生看護学方法論Ⅰ		2	2	選択必修科目中1科目選 択し、修得すること
		○公衆衛生看護学方法論Ⅲ		2	3	
栄養学 (食品学を含む。)	2	◎いのちと生活Ⅰ (栄養学)		2	1	
解剖学及び生理学	2	◎からだの構造と機能Ⅰ (解剖学)		1	1	
		◎からだの構造と機能Ⅱ (生理学)		2	1	
「微生物学、免疫学、薬理概論」	2	◎いのちのしくみⅡ (微生物学)		1	1	
		◎健康の回復促進Ⅱ (薬理学)		2	2	
精神保健	2	◎精神看護学概論		1	2	
		◎精神看護学援助論Ⅱ		1	3	
看護学 (臨床実習及び救急処置を含む。)	10	◎基盤看護学概論		2	1	
		◎看護理論		2	1	
		◎小児看護学概論		1	2	
		◎母性看護学概論		1	2	
		◎小児看護学援助論Ⅰ		1	2	
		◎小児看護学援助論Ⅱ		1	3	
		◎基盤看護学実習Ⅰ		1	1	
		◎基盤看護学実習Ⅱ		2	2	
		◎在宅看護学概論		1	2	
		◎在宅看護学援助論Ⅰ		1	2	
		◎成人急性期看護学援助論Ⅰ		1	2	
		◎成人急性期看護学援助論Ⅱ		1	3	
合 計	28	上記科目より35単位以上修得すること。 ※免許法が定める必要合計単位数は28単位ですが、本学における必要合計単位数は35単位となります。				

別表6（第15条関係）（教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目に対応する本学の授業科目と単位数）

教育職員免許法施行規則 第66条の6に定める科目		本学の開講科目			
科目	単 位 数	授業科目	単 位 数	年 次	備考
日本国憲法	2	日本国憲法	2	1	
体育	2	健康の科学 スポーツ実技	2 1	1 1	スポーツ実技は必ず修得すること。
外国語コミュニケーション	2	実用英会話Ⅰ 実用英会話Ⅱ	1 1	2 2	
情報機器の操作	2	情報リテラシー	2	1	危機管理学部
		情報処理入門	2	1	薬学部（2018年度入学生まで）
		健康と社会の仕組みⅣ（情報危機管理）	2	1	看護学部
合計	8				

別表7の1（第16条関係）（博物館学芸員に関する科目（必修科目）及び履修要件）

1 博物館に関する科目に対応する本学の授業科目のうち必修科目は次のとおりである。

[平成31（2019）年度入学生以降]

危機管理学部 動物危機管理学科

博物館法施行規則に 定める指定科目	本学の開講科目	単位数		時間数		備考
		講義	実習	講義	実習	
生涯学習概論	生涯学習論	2		30		すべて修得すること
博物館概論	博物館概論	2		30		
博物館経営論	博物館経営論	2		30		
博物館資料論	博物館資料論	2		30		
博物館資料保存論	博物館資料保存論	2		30		
博物館展示論	博物館展示論	2		30		
博物館教育論	博物館教育論	2		30		
博物館情報・メディア論	博物館情報・メディア論	2		30		
博物館実習	博物館実習Ⅰ		2		60	
	博物館実習Ⅱ		1		30	
小計		16	3	240	90	

[平成30（2018）年度以前入学生]

博物館法施行規則に 定める指定科目	本学の開講科目	単位数		時間数		備考
		講義	実習	講義	実習	
生涯学習概論	生涯学習論	2		30		すべて修得すること
博物館概論	博物館概論	2		30		
博物館経営論	博物館経営論	2		30		
博物館資料論	博物館資料論	2		30		
博物館資料保存論	博物館資料保存論	2		30		
博物館展示論	博物館展示論	2		30		
博物館教育論	博物館教育論	2		30		

博物館情報・メディア論	博物館情報・メディア論	2		30		
博物館実習	博物館実習		3		90	
小計		16	3	240	90	

2 「博物館実習」を履修する学生は、次の要件を充足するものとする。

授業科目	履修要件
博物館実習	(1) 博物館に関する科目のうち、「博物館概論」「博物館資料論」「博物館展示論」を含めて必修科目7科目14単位以上修得していること。 (2) 学科が専攻科目として開講している「動物学」「環境科学」「地域環境保全論」「生態学」「生物多様性保全学」の5科目10単位のうち、2科目4単位以上修得しておくこと。 (3) 前2号については3年次秋学期の成績（再試験の結果は含めない）に基づいて判定する。 (4) 懲戒処分を受けていないこと。 (5) 健康状態その他の事由により実習継続が困難でないこと。

別表7の2（第16条関係）（博物館学芸員に関する科目（選択科目））

1 博物館に関する科目に対応する本学の授業科目のうち選択科目は次のとおりである。

[平成31（2019）年度入学生以降]

危機管理学部 動物危機管理学科

任意設定科目	本学の開講科目	単位数		時間数		備考
		講義	実習	講義	実習	
	動物学	2		30		2科目4単位以上を修得すること
	生物多様性保全学	2		30		
	生態学	2		30		
小計		6		90		

[平成30（2018）年度以前入学生]

任意設定科目	本学の開講科目	単位数		時間数		備考
		講義	実習	講義	実習	
	動物学	2		30		2科目4単位以上を修得すること
	生態学	2		30		
	生物多様性保全学	2		30		
小計		10		150		

別表 8 (第 17 条関係) (臨床工学技士指定科目及び履修要件)

1 臨床工学技士法第 14 条第 4 号に基づき厚生労働大臣の指定する科目に対応する本学の授業科目は次のとおりである。

[令和 5 (2023) 年度入学生以降 履修要件]

指定科目	授業科目名	単位数		指定科目	授業科目名	単位数			
		講義	実習			講義	実習		
解剖学	解剖学	2		医用治療機器学	医用治療機器学	2			
	解剖学実習		1		医用治療機器学実習		1		
生理学	生理学	2		生体計測装置学	医用生体計測装置学	2			
	生理学実習		1		医用生体計測装置学実習		1		
生化学	生化学	2		臨床支援技術学	臨床支援技術学	2			
医学概論	医学・公衆衛生学概論	2			臨床支援技術学演習	1			
公衆衛生学				生体機能代行技術学	生体機能代行装置学 I	2			
病理学	病理学	2			生体機能代行装置学 II	2			
薬理学	薬理学・病態薬理学	2			生体機能代行装置学 III	2			
免疫学	免疫学概論	2			生体機能代行装置学実習 I		1		
チーム医療概論	チーム医療概論	2			生体機能代行装置学実習 II		1		
関係法規	医療関係法規	2			生体機能代行装置学実習 III		1		
応用数学	応用数学	2			生体機能代行装置学総合演習 I	2			
	応用数学演習	2		生体機能代行装置学総合演習 II	2				
	理工学数学演習	2							
電気工学	電気・電子工学 I	2		医療安全管理学	医用機器安全管理学 I	2			
	電気・電子工学実験 I		1		医用機器安全管理学 II	2			
電子工学	電気・電子工学 II	2		臨床医学総論	医用機器安全管理学実習		1		
	電気・電子工学実験 II		1		臨床病態学 I	1			
機械工学	医用機械工学	2		臨床病態学 II	1				
	(理工学数学演習)	-	-	臨床病態学 III	1				
計測工学	計測工学	2		医用工学	臨床工学総合演習 I	2			
医用工学	医用工学・情報科学概論	2			臨床工学総合演習 II	2			
	医用工学実習		1						
	理工学演習 I	2							
	理工学演習 II	2							
	医療機器学演習	1							
	システム工学	2							
生体物性工学	生体物性工学	2		その他	授業科目名	単位数			
医用材料工学	医用材料工学	2					上記科目における臨地実習	臨床実習前後技能知識到達度評価	2
医用機器学概論	医用機器学概論 I	2						臨床工学臨床実習	5
	医用機器学概論 II	2							

[令和2(2020)～令和4(2022)年度入学生 履修要件]

指定科目	本学の開講科目	単位数	備 考
公衆衛生学	医学概論・公衆衛生学	1	
医学概論			
解剖学	解剖生理学Ⅰ	1	
生理学	解剖生理学Ⅱ	1	
	解剖生理学Ⅲ	1	
	解剖学実習	1	
	生理学実習	1	
病理学	病理学Ⅰ	1	
	病理学Ⅱ	1	
生化学	生化学Ⅰ	1	
	生化学Ⅱ	1	
薬理学	薬理学	1	
免疫学	免疫学	1	
看護学概論	看護学概論	1	
応用数学	基礎統計学	2	「応用数学」、「応用数学演習」のほか、「基礎統計学」、「理工学数学演習」から2単位以上修得すること。
	理工学数学演習	2	
	応用数学	2	
	応用数学演習	2	
医用工学	医用工学概論	1	
	医用工学実習	1	
電気工学	電気・電子工学Ⅰ	1	
電子工学	電気・電子工学実験Ⅰ	1	
	電気・電子工学Ⅱ	1	
	電気・電子工学実験Ⅱ	1	
物性工学	生体物性工学	1	
機械工学	医用機械工学	1	
材料工学	医用材料工学	1	
計測工学	計測工学	1	
医用機器学概論	医用機器学概論Ⅰ	1	
	医用機器学概論Ⅱ	1	
生体機能代行装置学	生体機能代行装置学Ⅰ	1	
	生体機能代行装置学実習Ⅰ	1	
	生体機能代行装置学Ⅱ	1	
	生体機能代行装置学実習Ⅱ	1	
	生体機能代行装置学Ⅲ	1	
	生体機能代行装置学実習Ⅲ	1	
	生体機能代行装置学総合演習	2	
医用治療機器学	医用治療機器学	1	
	医用治療機器学実習	1	
生体計測装置	医用生体計測装置学	1	

	医用生体計測装置学実習	1	
医用機器安全管理学	医用機器安全管理学Ⅰ	1	
	医用機器安全管理学Ⅱ	1	
	医用機器安全管理学実習	1	
臨床医学総論	臨床病態学Ⅰ	1	
	臨床病態学Ⅱ	1	
	臨床病態学Ⅲ	1	
	臨床工学総合演習Ⅰ	2	
	臨床工学総合演習Ⅱ	2	
関係法規	関係法規	1	
臨床実習	臨床工学臨床実習	4	

[平成 31 (2019) 年度以前入学生 履修要件]

指定科目	本学の開講科目	単位数	備考
公衆衛生学	衛生学・公衆衛生学	2	
医学概論	医学概論	2	
解剖学	解剖学Ⅰ	2	
	解剖学Ⅱ	2	
生理学	生理学Ⅰ	2	
	生理学Ⅱ	2	
	基礎医学実習	1	
病理学	病理学Ⅰ	2	
	病理学Ⅱ	2	
生化学	生化学Ⅰ	2	
	生化学Ⅱ	2	
薬理学	薬理学	2	
免疫学	免疫学	2	
看護学概論	看護学	2	
応用数学	実用数学	2	「応用数学」、「応用数学演習」のほか、「実用数学」、「実用数学演習」、「基礎統計学」、「応用統計学」から4単位以上修得すること。
	実用数学演習	2	
	基礎統計学	2	
	応用統計学	2	
	応用数学	2	
	応用数学演習	2	
医用工学	医用工学概論	2	
	医用工学実習	1	
電気工学	電気・電子工学Ⅰ	2	
電子工学	電気・電子工学実験Ⅰ	1	
	電気・電子工学Ⅱ	2	
	電気・電子工学実験Ⅱ	1	
物性工学	生体物性工学	2	

機械工学	医用機械工学	2	
材料工学	医用材料工学	2	
計測工学	計測工学	2	
	計測工学演習	2	
医用機器学概論	医用機器学概論Ⅰ	2	
	医用機器学概論Ⅱ	2	
生体機能代行装置学	生体機能代行装置学Ⅰ（代謝）	3	
	生体機能代行装置学実習Ⅰ（代謝）	1	
	生体機能代行装置学Ⅱ（呼吸）	3	
	生体機能代行装置学実習Ⅱ（呼吸）	1	
	生体機能代行装置学Ⅲ（循環）	3	
	生体機能代行装置学実習Ⅲ（循環）	1	
医用治療機器学	医用治療機器学	2	
	医用治療機器学実習	1	
生体計測装置	医用生体計測装置学	2	
	医用生体計測装置学実習	1	
医用機器安全管理学	医用機器安全管理学Ⅰ	2	
	医用機器安全管理学Ⅱ	2	
	医用機器安全管理学実習	1	
臨床医学総論	臨床病態学Ⅰ	2	「放射線医学」は選択とする。
	臨床病態学Ⅱ	2	
	臨床病態学Ⅲ	2	
	放射線医学	1	
	臨床工学総合演習Ⅰ	2	
	臨床工学総合演習Ⅱ	2	
関係法規	臨床工学関係法規	1	
臨床実習	臨床工学臨床実習	4	

2 「臨床工学臨床実習」を履修する者は、次の要件を充足するものとする。

授業科目	履修要件
臨床工学臨床実習	(1) 「卒業研究」を除く卒業要件（単位）を修得していること。 (2) 「臨床工学臨床実習」を除く本学が定める国家試験の受験資格に必要な3年次までの単位を修得し、4年次に開講される国家試験の受験資格に必要な科目を履修していること。 (3) 当該期までの学納金、学外実習費を完納していること。 (4) 懲戒処分による停学期間中でないこと。 (5) 健康状態その他の事由により実習継続が困難でないこと。注1)

注1) 実習継続の判断は、危機管理学部保健医療学科に設置する臨地実習委員会が行う。

注2) 単位認定は、実習先指導者の協力のもと、提出された評価資料を参考に各実習科目の評点と単位認定を臨地実習委員会が行う。

別表9の1（第18条関係）（臨床検査技師指定科目）

臨床検査技師等に関する法律施行令第18条第3号及び第4号の規程に基づき厚生労働大臣が定める科目は次のとおりである。

[令和4（2022）年度入学生以降 履修要件]

指定科目	授業科目名	単位数		指定科目	授業科目名	単位数	
		講義	実習			講義	実習
病態学	臨床検査医学総論	2		免疫検査学	免疫学概論	2	
	解剖学	2			免疫検査学	2	
	解剖学実習		1		免疫検査学実習		1
	生理学	2		遺伝子関連・染色体検査学	遺伝子関連・染色体検査学	2	
	生理学実習		1		遺伝子関連・染色体検査学実習		1
	生化学	2		輸血・移植検査学	輸血・移植検査学	2	
	生化学実習		1		輸血・移植検査学実習		1
	チーム医療概論	2			輸血・移植検査学演習	1	
	薬理学・病態薬理学	2			微生物検査学Ⅰ	2	
	栄養学・臨床栄養学	2		微生物検査学	微生物検査学Ⅱ	2	
病理学	2		微生物検査学実習			1	
微生物学概論	2		微生物検査学演習		1		
			生理検査学Ⅰ		2		
公衆衛生学	医学・公衆衛生学概論	2		生理検査学	生理検査学Ⅱ	2	
	医療関係法規	2			生理検査学Ⅲ	2	
医用工学概論	医用工学・情報科学概論	2			生理検査学実習Ⅰ		1
	検査機器総論	2			生理検査学実習Ⅱ		1
	医用工学実習		1	生理検査学演習Ⅰ	1		
血液検査学	血液検査学	2		生理検査学演習Ⅱ	1		
	血液検査学実習Ⅰ		1	検査管理総論	2		
	血液検査学実習Ⅱ		1	検査精度管理論	2		
	血液検査学演習	1		臨床検査総合演習Ⅰ	1		
病理検査学	病理検査学	2		臨床検査総合管理学	臨床検査総合演習Ⅱ	1	
	臨床細胞学総論Ⅰ	2			医療安全管理学	2	
	病理検査学実習		1				
	病理検査学演習	1					

尿・糞便等一般検査学	一般検査学・寄生虫検査学	2		医療安全管理学	医療安全管理学実習		1
	一般検査学・寄生虫検査学実習		1				
生化学検査学	生化学検査学Ⅰ	2					
	生化学検査学Ⅱ	2					
	生化学検査学実習		1				
	生化学検査学・免疫検査学演習	1					

その他	授業科目名	単位数
上記科目における臨地実習	臨地実習前技能修得到達度評価	1
	臨床検査臨地実習	11

臨床検査技師等に関する法律施行令第18条第3号ニに基づき厚生労働大臣の指定する科目に対応する本学の授業科目は次のとおりである。

[令和2(2020)年度～令和3(2021)年度入学生 履修要件]

指定科目	本学の開講科目	単位数		実時間		備考
		講義	実習	講義	実習	
医学概論	医学概論・公衆衛生学	1		30		
解剖学	解剖生理学Ⅰ	1		30		
生理学	解剖生理学Ⅱ	1		30		
	解剖生理学Ⅲ	1		30		
	解剖学実習 生理学実習		1 1		45 45	
病理学	病理学Ⅰ	1		30		
	病理学Ⅱ	1		30		
	病理検査学	1		30		
	病理検査学実習		1		45	
生化学	生化学Ⅰ	1		30		
	生化学Ⅱ	1		30		
	生化学実習		1		45	
微生物学	微生物学	1		30		
	微生物検査学	1		30		
	微生物検査学実習		1		45	
医動物学	医動物学	1		30		
	微生物・医動物学実習		0.5		22.5	
情報科学概論	情報リテラシー	2		30		
検査機器総論	検査機器総論	1.5		45		
医用工学概論	医用工学概論	1		30		
	医用工学実習		1		45	
臨床血液学	血液検査学Ⅰ	1		30		
	血液検査学Ⅱ	1		30		
	血液検査学実習Ⅰ		1		45	
	血液検査学実習Ⅱ		1		45	

臨床免疫学	免疫学	1		30		
	免疫検査学Ⅰ	1		30		
	免疫検査学Ⅱ	1		30		
	免疫検査学実習Ⅰ		1		45	
	免疫検査学実習Ⅱ		1		45	

[平成 31 (2019) 年度以前入学生 履修要件]

指定科目	本学の開講科目	単位数		実時間		備考
		講義	実習	講義	実習	
医学概論	医学概論	2		30		
解剖学	解剖学Ⅰ	2		30		
	解剖学Ⅱ	2		30		
	解剖学実習		1		45	
生理学	生理学Ⅰ	2		30		
	生理学Ⅱ	2		30		
	生理学実習		1		45	
病理学	病理学Ⅰ	2		30		
	病理学Ⅱ	2		30		
	病理検査学	2		30		
	病理検査学実習		1		45	
生化学	生化学Ⅰ	2		30		
	生化学Ⅱ	2		30		
	生化学実習		1		45	
微生物学	微生物学	2		30		
	微生物検査学Ⅰ	2		30		
	微生物検査学Ⅱ	2		30		
	微生物検査学実習		1		45	
医動物学	医動物学	2		30		
	微生物・医動物学実習		1		45	
情報科学概論	情報リテラシー	2		30		
検査機器総論	検査機器総論Ⅰ	2		30		
	検査機器総論Ⅱ	2		30		
医用工学概論	医用工学概論	2		30		
	医用工学実習		1		45	
臨床血液学	血液検査学Ⅰ	2		30		
	血液検査学Ⅱ	2		30		
	血液検査学実習Ⅰ		1		45	この他に臨地実習を1単位 (45時間)行う
	血液検査学実習Ⅱ		1		45	
臨床免疫学	免疫学	2		30		
	免疫検査学Ⅰ	2		30		
	免疫検査学Ⅱ	2		30		
	免疫検査学実習Ⅰ		1		45	この他に臨地実習を1単位 (45時間)行う
	免疫検査学実習Ⅱ		1		45	

別表9の2（第18条関係）（臨床検査技師生理検査及び採血に関する科目及び履修要件）

1 臨床検査技師等に関する法律施行令第18条第3号の規定に基づき厚生労働大臣が定める生理学的検査及び採血に関する科目に対応する本学の授業科目は次のとおりである。

[令和2（2020）～令和3（2021）年度入学生 履修要件]

指定科目	本学の開講科目	単位数		実時間		備考
		講義	実習	講義	実習	
医用工学概論	医用工学概論 医用工学実習	1	1	30	45	
臨床検査学総論	臨床検査学総論Ⅰ	1		30		
	臨床検査学総論Ⅱ	1		30		
	臨床検査学総論実習		1		45	
	関係法規	1		30		
	医学概論・公衆衛生学	1		30		
	遺伝子検査学	1		30		
	遺伝子検査学実習		1		45	
	臨床検査学総合演習Ⅰ 臨床検査学総合演習Ⅱ	2 2		30 30		
臨床生理学	生理機能検査学Ⅰ	1		30		
	生理機能検査学Ⅱ	1		30		
	生理機能検査学実習Ⅰ		1		45	
	生理機能検査学実習Ⅱ		1		45	
臨床化学	生化学分析検査学Ⅰ	1		30		
	生化学分析検査学Ⅱ	1		30		
	生化学分析検査学実習Ⅰ		1		45	
	生化学分析検査学実習Ⅱ		1		45	
放射性同位元素検査技術学	放射化学	1		30		
医療安全管理学	医療安全管理学と実習	1		20	16	実習15時間を含む
備考	臨床検査臨地実習		5		225	

[平成30～31（2018～2019）年度入学生 履修要件]

指定科目	本学の開講科目	単位数		実時間		備考
		講義	実習	講義	実習	
臨床生理学	生理機能検査学Ⅰ	2		30		
	生理機能検査学Ⅱ	2		30		
	生理機能検査学Ⅲ	2		30		
	生理機能検査学実習Ⅰ		1		45	この他に臨地実習を1単位 （45時間）行う
	生理機能検査学実習Ⅱ		1		45	
臨床化学	生化学分析検査学Ⅰ	2		30		
	生化学分析検査学Ⅱ	2		30		
	生化学分析検査学実習Ⅰ		1		45	この他に臨地実習を1単位 （45時間）行う
	生化学分析検査学実習Ⅱ		1		45	

放射性同位元素検査技術学	放射化学	2		30		
医療安全管理学	医療安全管理学 医療安全管理学実習	2	1	30	45	
医用工学概論	医用工学概論 医用工学実習	2	1	30	45	
臨床検査学総論	臨床検査学総論Ⅰ 臨床検査学総論Ⅱ 臨床検査学総論実習 臨床検査関係法規 衛生学・公衆衛生学 遺伝子検査学 遺伝子検査学実習 臨床検査学総合演習Ⅰ 臨床検査学総合演習Ⅱ	2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1	30 30 30 30 30 30 30 30 30	45 45	この他に臨地実習を1単位 (45時間)行う
備考	臨床検査臨地実習		5		225	

[平成 28～29 (2016～2017) 年度入学生 履修要件]

指定科目	本学の開講科目	単位数		実時間		備考
		講義	実習	講義	実習	
臨床生理学	生理機能検査学Ⅰ 生理機能検査学Ⅱ 生理機能検査学Ⅲ 生理機能検査学実習Ⅰ 生理機能検査学実習Ⅱ	2 2 2 2 2	1 1	30 30 30 45 45	45 45	この他に臨地実習を1単位 (45時間)行う
臨床化学	生化学分析検査学Ⅰ 生化学分析検査学Ⅱ 生化学分析検査学実習Ⅰ 生化学分析検査学実習Ⅱ	2 2 2 2	1 1	30 30 45 45	45 45	この他に臨地実習を1単位 (45時間)行う
放射性同位元素検査技術学	放射化学	2		30		
医療安全管理学	医療安全管理学 医療安全管理学実習	2	1	30	45	
医用工学概論	医用工学概論 医用工学実習	2	1	30	45	
臨床検査学総論	臨床検査学総論Ⅰ 臨床検査学総論Ⅱ 臨床検査学総論実習 臨床検査関係法規 衛生学・公衆衛生学	2 2 2 2 2	1	30 30 30 30 30	45	この他に臨地実習を1単位 (45時間)行う
備考	臨床検査臨地実習		5		225	

[平成 27 (2015) 年度以前入学生 履修要件]

指定科目	本学の開講科目	単位数		実時間		備考
		講義	実習	講義	実習	
臨床生理学	生理機能検査学Ⅰ	2		30		この他に臨地実習を1単位 (45時間) 行う
	生理機能検査学Ⅱ	2		30		
	生理機能検査学Ⅲ	2		30		
	生理機能検査学実習Ⅰ		1		45	
	生理機能検査学実習Ⅱ		1		45	
臨床化学	生化学分析検査学Ⅰ	2		30		この他に臨地実習を1単位 (45時間) 行う
	生化学分析検査学Ⅱ	2		30		
	生化学分析検査学実習Ⅰ		1		45	
	生化学分析検査学実習Ⅱ		1		45	
放射性同位元素検査 技術学	放射化学	2		30		
	RⅠ検査学実習		1		45	
医用工学概論	医用工学概論	2		30		
	医用工学実習		1		45	
臨床検査学総論	臨床検査学総論Ⅰ	2		30		この他に臨地実習を1単位 (45時間) 行う
	臨床検査学総論Ⅱ	2		30		
	臨床検査学総論実習		1		45	
	臨床検査関係法規	2		30		
	衛生学・公衆衛生学	2		30		
備考	臨床検査臨地実習		5		225	

2 「臨床検査臨地実習」を履修する者は、次の要件を充足するものとする。

[令和 4 (2022) 年度以降入学生 履修要件]

授業科目	履修要件
臨床検査臨地実習	(1) 「卒業研究」または「課題研究」を除く卒業要件(単位)を修得していること。 (2) 本学が定める国家試験の受験資格に必要な3年次までの単位を修得していること。 (3) 当該期までの学納金、学外実習費を完納していること。 (4) 懲戒処分による停学期間中でないこと。 (5) 臨地実習が実施できる健康状態であること。注1)

注1) 実習継続の判断は、危機管理学部保健医療学科に設置する臨地実習委員会が行う。

注2) 単位認定は、実習先指導者の協力のもと、提出された評価資料を参考に各実習科目の評点と単位認定を臨地実習委員会が行う。

[令和 3 (2021) 年度以前入学生 履修要件]

授業科目	履修要件
臨床検査臨地実習	(1) 「卒業研究」を除く卒業要件(単位)を修得していること。 (2) 「臨床検査臨地実習」を除く本学が定める国家試験の受験資格に必要な3年次までの単位を修得し、4年次に開講される国家試験の受験資格に必要な科目を履修していること。 (3) 当該期までの学納金、学外実習費を完納していること。 (4) 懲戒処分による停学期間中でないこと。 (5) 健康状態その他の事由により実習継続が困難でないこと。注1)

注1) 実習継続の判断は、危機管理学部保健医療学科に設置する臨地実習委員会が行う。

注2) 単位認定は、実習先指導者の協力のもと、提出された評価資料を参考に各実習科目の評点と単位認定を臨地実習委員会が行う。

別表 10 (第 19 条関係) (救急救命士指定科目及び履修要件)

1 救急救命士法第 3 4 条第 3 号に基づき厚生労働大臣の指定する科目に対応する本学の授業科目は次のとおりである。

[令和 5 (2023) 年度以降入学生 履修要件]

指定科目	本学の開講科目	単位数		実時間		備 考
		講義	実習	講義	実習	
公衆衛生学	医学・公衆衛生学概論	2		30		社会保障・社会福祉を含む
	看護学概論	2		30		
解剖学	解剖学	2		30		
生理学	生理学	2		30		
薬理学	薬理学・病態薬理学	2		30		
病理学	病理学	2		30		
生化学	生化学	2		30		
微生物学	微生物学概論	2		30		
内科学	臨床内科学 I	1		30		
	臨床内科学 II	1		30		
	臨床内科学 III	1		30		
	臨床内科学 IV	1		30		
	臨床内科学 V	1		30		
	臨床内科学 VI	1		30		
	臨床内科学 VII	1		30		
	臨床内科学 VIII	1		30		
	臨床内科学 IX	1		30		
外科学	救急医学概論 I	1		30		
	救急医学概論 II	1		30		
	医学検査	1		30		
	救急処理総論	2		60		
	救急処理各論	2		60		
	救急・災害医療	1		30		
	臨床外科学 I	2		60		
	臨床外科学 II	2		60		
	臨床外科学 III	1		30		
	臨床外科学 IV	1		30		
	一般救急救命	1		30		
	小児科学	小児科学	1		30	
産婦人科学	産婦人科学	1		30		
整形外科学	整形外科学	1		30		

脳外科学	脳外科学	1		30		
精神医学	精神医学	1		30		
放射線医学	放射線医学	1		30		
臨床実習	シミュレーションⅠ		3		135	
	シミュレーションⅡ		3		135	
	シミュレーションⅢ		3		135	
	シミュレーションⅣ		3		135	
	病院内実習		10		450	
	救急車同乗実習		3		135	

[令和2(2020)～令和4(2022)年度入学生 履修要件]

指定科目	本学の開講科目	単位数		実時間		備考
		講義	実習	講義	実習	
公衆衛生学	医学概論・公衆衛生学	1		30		
	看護学概論	1		30		
解剖学	解剖生理学Ⅰ	1		30		
生理学	解剖生理学Ⅱ	1		30		
	解剖生理学Ⅲ	1		30		
薬理学	薬理学	1		30		
病理学	病理学Ⅰ	1		30		
	病理学Ⅱ	1		30		
生化学	生化学Ⅰ	1		30		
	生化学Ⅱ	1		30		
微生物学	微生物学	1		30		
内科学	臨床内科学Ⅰ	1		30		
	臨床内科学Ⅱ	1		30		
	臨床内科学Ⅲ	1		30		
	臨床内科学Ⅳ	1		30		
	臨床内科学Ⅴ	1		30		
	臨床内科学Ⅵ	1		30		
	臨床内科学Ⅶ	1		30		
	臨床内科学Ⅷ	1		30		
	臨床内科学Ⅸ	1		30		
外科学	救急医学概論Ⅰ	1		30		
	救急医学概論Ⅱ	1		30		
	医学検査	1		30		
	救急処理総論	2		60		
	救急処理各論	2		60		
	救急・災害医療	1		30		
	臨床外科学Ⅰ	2		60		
	臨床外科学Ⅱ	2		60		
	臨床外科学Ⅲ	1		30		

	臨床外科学Ⅳ	1		30		
	一般救急救命	1		30		
小児科学	小児科学	1		30		
産婦人科学	産婦人科学	1		30		
整形外科科学	整形外科科学	1		30		
脳外科学	脳外科学	1		30		
精神医学	精神医学	1		30		
放射線医学	放射線医学	1		30		
臨床実習	シミュレーションⅠ		3		135	
	シミュレーションⅡ		3		135	
	シミュレーションⅢ		3		135	
	シミュレーションⅣ		3		135	
	病院内実習		10		450	
	救急車同乗実習		3		135	

[平成 29～31 (2017～2019) 年度入学生 履修要件]

指定科目	本学の開講科目	単位数		実時間		備考
		講義	実習	講義	実習	
公衆衛生学	医学概論	2		30		
	看護学	2		30		
	衛生学・公衆衛生学	2		30		
解剖学	解剖学Ⅰ	2		30		
	解剖学Ⅱ	2		30		
生理学	生理学Ⅰ	2		30		
	生理学Ⅱ	2		30		
薬理学	薬理学	2		30		
病理学	病理学Ⅰ	2		30		
	病理学Ⅱ	2		30		
生化学	生化学Ⅰ	2		30		
	生化学Ⅱ	2		30		
微生物学	微生物学	2		30		
内科学	臨床内科学Ⅰ	1		30		
	臨床内科学Ⅱ	1		30		
	臨床内科学Ⅲ	1		30		
	臨床内科学Ⅳ	1		30		
	臨床内科学Ⅴ	1		30		
	臨床内科学Ⅵ	1		30		
	臨床内科学Ⅶ	1		30		
	臨床内科学Ⅷ	1		30		
	臨床内科学Ⅸ	1		30		
外科学	救急医学概論Ⅰ	1		30		
	救急医学概論Ⅱ	1		30		

	医学検査	1		30		
	救急処理総論	2		60		
	救急処理各論	2		60		
	救急・災害医療	1		30		
	臨床外科学Ⅰ	2		60		
	臨床外科学Ⅱ	2		60		
	臨床外科学Ⅲ	1		30		
	臨床外科学Ⅳ	1		30		
	一般救急救命	1		30		
小児科学	小児科学	1		30		
産婦人科学	産婦人科学	1		15		
整形外科	整形外科	1		30		
脳外科学	脳外科学	1		30		
精神医学	精神医学	1		30		
放射線医学	放射線医学	1		15		
臨床実習	シミュレーションⅠ		3		135	
	シミュレーションⅡ		3		135	
	シミュレーションⅢ		3		135	
	シミュレーションⅣ		3		135	
	病院内実習		10		450	
	救急車同乗実習		3		135	

[平成 28 (2016) 年度入学生 履修要件]

指定科目	本学の開講科目	単位数		実時間		備考
		講義	実習	講義	実習	
公衆衛生学	医学概論	2		30		
	看護学	2		30		
	衛生学・公衆衛生学	2		30		
解剖学	解剖学Ⅰ	2		30		
	解剖学Ⅱ	2		30		
生理学	生理学Ⅰ	2		30		
	生理学Ⅱ	2		30		
薬理学	薬理学	2		30		
病理学	病理学Ⅰ	2		30		
	病理学Ⅱ	2		30		
生化学	生化学Ⅰ	2		30		
	生化学Ⅱ	2		30		
微生物学	微生物学	2		30		
内科学	臨床内科学Ⅰ	1		30		
	臨床内科学Ⅱ	1		30		
	臨床内科学Ⅲ	1		30		
	臨床内科学Ⅳ	1		30		

	臨床内科学V	1		30		
	臨床内科学VI	1		30		
	臨床内科学VII	1		30		
	臨床内科学VIII	1		30		
	臨床内科学IX	1		30		
外科学	救急医学概論Ⅰ	1		30		
	救急医学概論Ⅱ	1		30		
	医学検査	1		30		
	救急処理総論	2		60		
	救急処理各論	2		60		
	救急・災害医療	1		30		
	臨床外科学Ⅰ	2		60		
	臨床外科学Ⅱ	2		60		
	臨床外科学Ⅲ	1		30		
	臨床外科学Ⅳ	1		30		
	一般救急救命	1		30		
小児科学	小児科学	1		30		
産婦人科学	産婦人科学	1		15		
整形外科	整形外科	1		30		
脳外科学	脳外科学	1		30		
精神医学	精神医学	1		30		
放射線医学	放射線医学	1		15		
臨床実習	救命救助法入門		1		45	
	シミュレーションⅠ		3		135	
	シミュレーションⅡ		3		135	
	シミュレーションⅢ		3		135	
	シミュレーションⅣ		2		90	
	病院内実習		10		450	
	救急車同乗実習		3		135	

[平成 27 (2015) 年度以前入学生 履修要件]

指定科目	本学の開講科目	単位数		実時間		備考
		講義	実習	講義	実習	
公衆衛生学	医学概論	2		30		
	看護学	2		30		
	衛生学・公衆衛生学	2		30		
解剖学	解剖学Ⅰ	2		30		
	解剖学Ⅱ	2		30		
生理学	生理学Ⅰ	2		30		
	生理学Ⅱ	2		30		
薬理学	薬理学	2		30		
病理学	病理学Ⅰ	2		30		
	病理学Ⅱ	2		30		

生化学	生化学Ⅰ	2		30		
	生化学Ⅱ	2		30		
微生物学	微生物学	2		30		
内科学	臨床内科学Ⅰ	1		30		
	臨床内科学Ⅱ	1		30		
	臨床内科学Ⅲ	1		30		
	臨床内科学Ⅳ	1		30		
	臨床内科学Ⅴ	1		30		
	臨床内科学Ⅵ	1		30		
	臨床内科学Ⅶ	1		30		
	臨床内科学Ⅷ	1		30		
外科学	救急医学概論Ⅰ	1		30		
	救急医学概論Ⅱ	1		30		
	医学検査	1		30		
	救急処理総論	2		60		
	救急処理各論	2		60		
	救急・災害医療	1		30		
	臨床外科学Ⅰ	2		60		
	臨床外科学Ⅱ	2		60		
	臨床外科学Ⅲ	1		30		
	臨床外科学Ⅳ	1		30		
	一般救急救命	1		30		
	小児科学	小児科学	1		30	
産婦人科学	産婦人科学	1		15		
整形外科	整形外科	1		30		
脳外科学	脳外科学	1		30		
精神医学	精神医学	1		30		
放射線医学	放射線医学	1		15		
臨床実習	救命救助法入門		1		45	
	シミュレーションⅠ		3		135	
	シミュレーションⅡ		3		135	
	シミュレーションⅢ		3		135	
	シミュレーションⅣ		2		90	
	病院内実習		10		450	
	救急車同乗実習		3		135	

2 「救急車同乗実習」「病院内実習」を履修する者は、次の要件を充足するものとする。

授業科目	履修要件
救急車同乗実習 病院内実習	(1) 当該期までの学納金、学外実習費を完納していること。 (2) 懲戒処分による停学期間中でないこと。 (3) 健康状態その他の事由により実習継続が困難でないこと。注1)

注1) 実習継続の判断は、危機管理学部保健医療学科に設置する臨地実習委員会が行う。

注2) 単位認定は、実習先指導者の協力のもと、提出された評価資料を参考に各実習科目の評点と単位認定を臨地実習委員会が行う。

別表 1 1 (第 2 0 条関係) (保健師国家試験指定科目及び履修要件)

1 保健師助産師看護師学校養成所指定規則第 2 条に基づき厚生労働大臣の指定する科目に対応する本学の授業科目は次のとおりである。

指定科目	本学の開講科目	単位数		実時間		
		講義 演習	実習	講義 演習	実習	
公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	基盤看護学概論	2		3 0	
		小児看護学概論	1		1 5	
		母性看護学概論	1		1 5	
		成人看護学概論	1		1 5	
		老年看護学概論	1		1 5	
		精神看護学概論	1		1 5	
		在宅看護学概論	1		1 5	
		公衆衛生看護学概論Ⅰ	1		1 5	
		公衆衛生看護学概論Ⅱ (養護概説)	2		3 0	
		個人・家庭・集団・組織の支援	小児看護援助論Ⅰ 小児看護援助論Ⅱ 母性看護援助論Ⅰ 母性看護援助論Ⅱ	小児看護援助論Ⅰ	1	
小児看護援助論Ⅱ	1				3 0	
母性看護援助論Ⅰ	1				3 0	
母性看護援助論Ⅱ	1				3 0	
公衆衛生看護活動展開論	成人慢性期看護援助論Ⅰ 成人慢性期看護援助論Ⅱ 老年看護援助論Ⅰ 老年看護援助論Ⅱ 精神看護援助論Ⅰ 精神看護援助論Ⅱ	成人慢性期看護援助論Ⅰ	1		3 0	
		成人慢性期看護援助論Ⅱ	1		3 0	
		老年看護援助論Ⅰ	1		3 0	
		老年看護援助論Ⅱ	1		3 0	
		精神看護援助論Ⅰ	1		3 0	
		精神看護援助論Ⅱ	1		3 0	
公衆衛生看護管理論	在宅看護援助論Ⅰ 在宅看護援助論Ⅱ 公衆衛生看護方法論Ⅰ 公衆衛生看護方法論Ⅱ 公衆衛生看護方法論Ⅲ 公衆衛生看護方法論Ⅳ (学校保健) 公衆衛生看護技術演習Ⅰ 公衆衛生看護技術演習Ⅱ	在宅看護援助論Ⅰ	1		3 0	
		在宅看護援助論Ⅱ	1		3 0	
		公衆衛生看護方法論Ⅰ	2		3 0	
		公衆衛生看護方法論Ⅱ	2		3 0	
		公衆衛生看護方法論Ⅲ	2		3 0	
		公衆衛生看護方法論Ⅳ (学校保健)	2		3 0	
		公衆衛生看護技術演習Ⅰ	2		6 0	
		公衆衛生看護技術演習Ⅱ	2		6 0	
疫学	いのちと生活Ⅱ (疫学)	2		3 0		
保健統学論	健康と社会の仕組みⅡ (保健医療統計) 健康と社会の仕組みⅣ (情報危機管理)	健康と社会の仕組みⅡ (保健医療統計)	2		3 0	
		健康と社会の仕組みⅣ (情報危機管理)	2		3 0	
保健医療福祉行政論	健康と社会の仕組みⅠ (保健福祉行政論) 健康と社会の仕組みⅢ (社会福祉論)	健康と社会の仕組みⅠ (保健福祉行政論)	3		4 5	
		健康と社会の仕組みⅢ (社会福祉論)	1		1 5	
臨地 実習	個人・家庭・集団・組織の支援実習	在宅看護学実習		2		9 0
		公衆衛生看護学実習Ⅰ		1		4 5
	公衆衛生看護活動展開論実習	公衆衛生看護学実習Ⅱ		2		9 0
		公衆衛生看護学実習Ⅲ		2		9 0

別表 1 2 (第 2 1 条関係) (食品衛生管理者及び食品衛生監視員指定科目)

1 危機管理学部保健医療学科 (医療危機管理学科) における食品衛生管理者及び食品衛生監視員の指定科目に対応する本学の授業科目は次のとおりである。

[平成 29~31 (2017~2019) 年度入学生 履修要件]

区分	基礎科目	本学の開講科目	単位	履修年次	資格取得の必修：◎ /選択：○の別 本学最低修得単位数
関係 A 群 化学	分析化学	生化学分析検査学 I	2	3	○
	有機化学	化学 II	2	1	◎
	無機化学	化学 I	2	1	◎
化学実験		1	2	◎	
B 群 生物化学関係	生物化学	生化学 I	2	1	◎
		生化学 II	2	1	◎
		生化学実習	1	2	◎
	食品化学				
	生理学	生理学 I	2	1	◎
		生理学 II	2	1	◎
生理学実習		1	2	◎	
食品分析学					
毒性学	薬理学	2	2	◎	
C 群 微生物学関係	微生物学	微生物学	2	2	◎
		微生物検査学 I	2	2	○
		微生物検査学 II	2	3	○
		微生物検査学実習	1	3	○
		ウイルス感染学	2	2	○
	食品微生物学	人畜共通感染症学	2	4	○
食品保存学					
食品製造学					
学関係 D 群 公衆衛生	公衆衛生学	衛生学・公衆衛生学	2	2	◎
	食品衛生学				
	環境衛生学				
	衛生行政学	臨床検査関係法規	2	3	○
	疫学				
※A群からD群までそれぞれ1科目以上、その単位の合計で2.2単位以上		小計	3.4		3.0単位
E 群 その他関連科目	水産化学、畜産化学、放射線化学、乳化学、食肉化学、高分子化学、生物有機化学、環境汚染物質分析学、酵素化学、食品理化学、水産生理学、家畜生理学、植物生理学、環境生物学、応用微生物学、酪農微生物学、病理学、医学概論、解剖学、医化学、産業医学、血液学、血清学、遺伝学、寄生虫学、獣医学、栄養化学、衛生統計学、栄養学、環境保健学、衛生管理学、水産製造学、畜産品製造学、農産物製造学、醸造調味食品製造学、乳製品製造学、蒸留酒製造学、缶詰工学、食品工学、食品保存学、冷凍冷蔵学、品質管理学、等	放射化学	2	2	◎
		病理学 I	2	2	◎
		病理学 II	2	2	◎
		医学概論	2	1	◎
		解剖学 I	2	1	◎
		解剖学 II	2	1	◎
		解剖学実習	1	2	◎
		血液検査学 I	2	3	○
		免疫学	2	1	◎
		免疫検査学 I	2	2	○
		遺伝子検査学	2	2	○
		遺伝子検査学実習	1	2	○
		医動物学	2	2	○
			小計	2.4	
※A群からE群の単位の合計は4.0単位以上		合計	5.8		計4.5単位

[平成 28 (2016) 年度以前入学生 履修要件]

区分	基礎科目	本学の開講科目	単位	履修年次	資格取得の必修：◎ /選択：○の別 本学最低修得単位数
関係 A 群 化学	分析化学	生化学分析検査学 I	2	3	○
	有機化学	化学 II	2	1	◎
	無機化学	化学 I	2	1	◎
		化学実験	1	2	◎
B 群 生物化学関係	生物化学	生化学 I	2	1	◎
		生化学 II	2	1	◎
		生化学実習	1	2	◎
	食品化学				
	生理学	生理学 I	2	1	◎
		生理学 II	2	1	◎
生理学実習		1	2	◎	
食品分析学					
毒性学	薬理学	2	2	◎	
C 群 微生物学関係	微生物学	微生物学	2	2	◎
		微生物検査学 I	2	2	○
		微生物検査学 II	2	3	○
		微生物検査学実習	1	3	○
		ウイルス感染学	2	2	○
	食品微生物学	人畜共通感染症学	2	4	○
	食品保存学				
食品製造学					
学関係 D 群 公衆衛生	公衆衛生学	衛生学・公衆衛生学	2	2	◎
	食品衛生学				
	環境衛生学				
	衛生行政学	臨床検査関係法規	2	3	○
	疫学				
※A群からD群までそれぞれ1科目以上、その単位の合計で22単位以上		小計	34		30単位
E 群 その他関連科目	水産化学、畜産化学、放射線化学、乳化学、食肉化学、高分子化学、生物有機化学、環境汚染物質分析学、酵素化学、食品理化学、水産生理学、家畜生理学、植物生理学、環境生物学、応用微生物学、酪農微生物学、病理学、医学概論、解剖学、医化学、産業医学、血液学、血清学、遺伝学、寄生虫学、獣医学、栄養化学、衛生統計学、栄養学、環境保健学、衛生管理学、水産製造学、畜産品製造学、農産物製造学、醸造調味食品製造学、乳製品製造学、蒸留酒製造学、缶詰工学、食品工学、食品保存学、冷凍冷蔵学、品質管理学、等	放射化学	2	2	◎
		病理学 I	2	2	◎
		病理学 II	2	2	◎
		医学概論	2	1	◎
		解剖学 I	2	1	◎
		解剖学 II	2	1	◎
		解剖学実習	1	2	◎
		血液検査学 I	2	3	○
		免疫学	2	1	◎
		免疫検査学 I	2	2	○
		遺伝子検査学	2	3	○
		遺伝子検査学実習	1	3	○
		医動物学	2	2	○
			小計	24	
※A群からE群の単位の合計は40単位以上		合計	58		計45単位

2 危機管理学部動物危機管理学科における食品衛生管理者及び食品衛生監視員の指定科目に対応する本学の授業科目は次のとおりである。

[令和4(2022)年度以降入学生 履修要件]

区分	基礎科目	本学の開講科目	単位	履修年次	資格取得の必修：◎ /選択：○の別 本学最低修得単位数
関係 A 群 化学	分析化学	機器分析学	2	2	◎
	有機化学	化学Ⅱ	2	1	○
	無機化学	化学Ⅰ	2	1	○
		化学実験	1	2	◎
B 群 生物化学関係	生物化学				
	食品化学				
	生理学	動物生理学	2	1	◎
	食品分析学				
	毒性学	トキシコロジーⅠ	2	3	○
毒性学実習		1	4	◎	
C 群 微生物学関係	微生物学	病原体の科学	2	1	○
		動物感染症概論	2	1	○
		動物臨床検査学実習Ⅱ	1	3	◎
	食品微生物学	人獣共通感染症学	2	4	○
	食品保存学				
食品製造学					
学関係 D 群 公衆衛生	公衆衛生学	衛生学・公衆衛生学	2	2	○
	食品衛生学	食品安全の科学	2	2	◎
	環境衛生学				
	衛生行政学	動物関連法規	2	3	○
	疫学				
※A群からD群までそれぞれ1科目以上、その単位の合計で22単位以上		小計	25		22単位
E 群 その他関連科目	水産化学、畜産化学、放射線化学、乳化学、食肉化学、高分子化学、生物有機化学、環境汚染物質分析学、酵素化学、食品理化学、水産生理学、家畜生理学、植物生理学、環境生物学、応用微生物学、酪農微生物学、病理学、医学概論、解剖学、医化学、産業医学、血液学、血清学、遺伝学、寄生虫学、獣医学、栄養化学、衛生統計学、栄養学、環境保健学、衛生管理学、水産製造学、畜産品製造学、農産物製造学、醸造調味食品製造学、乳製品製造学、蒸留酒製造学、缶詰工学、食品工学、食品保存学、冷凍冷蔵学、品質管理学、等	海洋動物学	2	2	○
		生物海洋学	2	2	○
		動物学	2	1	◎
		産業動物学	2	1	◎
		動物病理学	2	3	○
		動物機能形態学	2	2	◎
		動物機能形態学実習	1	2	◎
		動物臨床検査学	2	2	◎
		動物臨床検査学実習Ⅰ	1	3	◎
		家畜育種学	2	2	○
		動物繁殖学	2	2	○
		動物外科実習	1	3	◎
		実験動物学Ⅰ	2	2	○
		実験動物学Ⅱ	2	2	○
		動物疾病学	2	3	○
		実験動物学実習	1	2	◎
		動物基礎栄養学	2	2	○
畜産物利用学	2	3	○		
		小計	32		18単位
※A群からE群の単位の合計は40単位以上		合計	57		計40単位

[令和2(2020)年度～令和3年(2021)入学生 履修要件]

区分	基礎科目	本学の開講科目	単位	履修年次	資格取得の必修：◎ /選択：○の別 本学最低修得単位数
関係 A 群 化学	分析化学	機器分析学	2	2	○
	有機化学	化学Ⅱ	2	1	○
	無機化学	化学Ⅰ	2	1	○
		化学実験	1	2	◎
B 群 生物化学関係	生物化学				
	食品化学				
	生理学	動物生理学	2	1	◎
	食品分析学				
	毒性学	トキシコロジーⅠ	2	3	○
トキシコロジーⅡ		2	3	○	
毒性学実習		1	4	◎	
C 群 微生物学関係	微生物学	病原体の科学	2	1	○
		動物感染症概論	2	1	○
		動物臨床検査学実習Ⅱ	1	3	◎
	食品微生物学	人獣共通感染症学	2	4	○
	食品保存学				
食品製造学					
学関係 D 群 公衆衛生	公衆衛生学	衛生学・公衆衛生学	2	2	○
	食品衛生学	食品安全の科学	2	2	◎
	環境衛生学				
	衛生行政学	動物関連法規	2	3	○
	疫学				
※A群からD群までそれぞれ1科目以上、その単位の合計で22単位以上		小計	27		22単位
E 群 その他関連科目	水産化学、畜産化学、放射線化学、乳化学、食肉化学、高分子化学、生物有機化学、環境汚染物質分析学、酵素化学、食品理化学、水産生理学、家畜生理学、植物生理学、環境生物学、応用微生物学、酪農微生物学、病理学、医学概論、解剖学、医化学、産業医学、血液学、血清学、遺伝学、寄生虫学、獣医学、栄養化学、衛生統計学、栄養学、環境保健学、衛生管理学、水産製造学、畜産品製造学、農産物製造学、醸造調味食品製造学、乳製品製造学、蒸留酒製造学、缶詰工学、食品工学、食品保存学、冷凍冷蔵学、品質管理学、等	アクアテクノロジーⅠ	2	3	○
		海洋動物学	2	2	○
		生物海洋学	2	2	○
		動物学	2	1	◎
		産業動物学	2	1	◎
		動物病理学	2	3	○
		動物機能形態学	2	2	◎
		動物機能形態学実習	1	2	◎
		動物臨床検査学	2	2	◎
		動物臨床検査学実習Ⅰ	1	3	◎
		家畜育種学	2	2	○
		動物繁殖学	2	2	○
		動物外科実習	1	3	◎
		実験動物学Ⅰ	2	2	○
		実験動物学Ⅱ	2	2	○
		動物疾病学	2	3	◎
		実験動物学実習	1	2	◎
		動物基礎栄養学	2	2	○
		畜産物利用学	2	3	○
				小計	34
※A群からE群の単位の合計は40単位以上		合計	61		計40単位

[平成 31 (2019) 年度入学生 履修要件]

区分	基礎科目	本学の開講科目	単位	履修年次	資格取得の必修：◎ /選択：○の別 本学最低修得単位数
関係 A 群 化学	分析化学	機器分析学	2	2	○
	有機化学	化学Ⅱ	2	1	○
	無機化学	化学Ⅰ	2	1	○
		化学実験	1	2	◎
B 群 生物化学関係	生物化学				
	食品化学				
	生理学	動物生理学	2	1	◎
	食品分析学				
	毒性学	トキシコロジーⅠ	2	3	○
トキシコロジーⅡ		2	3	○	
毒性学実習		1	4	◎	
C 群 微生物学関係	微生物学	病原体の科学	2	1	○
		動物感染症概論	2	1	○
		動物臨床検査学実習Ⅱ	1	3	◎
	食品微生物学	人獣共通感染症学	2	4	○
食品保存学					
食品製造学					
学関係 D 群 公衆衛生	公衆衛生学	衛生学・公衆衛生学	2	2	○
	食品衛生学	食品安全の科学	2	2	◎
	環境衛生学				
	衛生行政学	動物関連法規	2	3	○
	疫学				
※A群からD群までそれぞれ1科目以上、その単位の合計で22単位以上		小計	27		22単位
E 群 その他関連科目	水産化学、畜産化学、放射線化学、乳化学、食肉化学、高分子化学、生物有機化学、環境汚染物質分析学、酵素化学、食品理化学、水産生理学、家畜生理学、植物生理学、環境生物学、応用微生物学、酪農微生物学、病理学、医学概論、解剖学、医化学、産業医学、血液学、血清学、遺伝学、寄生虫学、獣医学、栄養化学、衛生統計学、栄養学、環境保健学、衛生管理学、水産製造学、畜産品製造学、農産物製造学、醸造調味食品製造学、乳製品製造学、蒸留酒製造学、缶詰工学、食品工学、食品保存学、冷凍冷蔵学、品質管理学、等	アクアテクノロジーⅠ	2	3	○
		海洋動物学	2	2	○
		生物海洋学	2	2	○
		動物学	2	1	◎
		産業動物学	2	1	◎
		動物病理学	2	3	○
		動物機能形態学	2	2	◎
		動物機能形態学実習	1	2	◎
		動物臨床検査学	2	2	◎
		動物臨床検査学実習Ⅰ	1	3	◎
		家畜育種学	2	2	○
		動物繁殖学	2	2	○
		動物外科実習	1	3	◎
		動物寄生虫学	2	3	○
		実験動物学Ⅰ	2	2	○
		実験動物学Ⅱ	2	2	○
		動物疾病学	2	3	◎
		実験動物学実習	1	2	◎
		動物基礎栄養学	2	2	○
		畜産物利用学	2	3	○
		小計	36		18単位
※A群からE群の単位の合計は40単位以上		合計	63		計40単位

[平成 28～30 (2016～2018) 年度入学生 履修要件]

区分	基礎科目	本学の開講科目	単位	履修年次	資格取得の必修：◎ /選択：○の別 本学最低修得単位数
関係 A 群 化学	分析化学	機器分析学	2	2	○
	有機化学	化学Ⅱ	2	1	○
	無機化学	化学Ⅰ	2	1	○
		化学実験	1	2	◎
B 群 生物化学関係	生物化学				
	食品化学				
	生理学	動物生理学	2	1	◎
	食品分析学				
	毒性学	トキシコロジーⅠ	2	3	○
トキシコロジーⅡ		2	3	○	
毒性学実習		1	4	◎	
C 群 微生物学関係	微生物学	病原体の科学	2	1	○
		動物感染症概論	2	1	○
		動物病原体検査学実習	1	3	◎
	食品微生物学	人獣共通感染症学	2	3	○
食品保存学					
食品製造学					
学関係 D 群 公衆衛生	公衆衛生学	衛生学・公衆衛生学	2	2	○
	食品衛生学	食品安全の科学	2	2	◎
	環境衛生学				
	衛生行政学	動物関連法規	2	3	○
	疫学				
※A群からD群までそれぞれ1科目以上、その単位の合計で22単位以上		小計	27		22単位
E 群 その他関連科目	水産化学、畜産化学、放射線化学、乳化学、食肉化学、高分子化学、生物有機化学、環境汚染物質分析学、酵素化学、食品理化学、水産生理学、家畜生理学、植物生理学、環境生物学、応用微生物学、酪農微生物学、病理学、医学概論、解剖学、医化学、産業医学、血液学、血清学、遺伝学、寄生虫学、獣医学、栄養化学、衛生統計学、栄養学、環境保健学、衛生管理学、水産製造学、畜産品製造学、農産物製造学、醸造調味食品製造学、乳製品製造学、蒸留酒製造学、缶詰工学、食品工学、食品保存学、冷凍冷蔵学、品質管理学、等	動物学	2	1	◎
		産業動物学	2	2	◎
		環境と生物	2	3	○
		動物病理学	2	3	○
		動物機能形態学	2	2	◎
		動物機能形態学実習	1	2	◎
		動物臨床検査学	2	2	◎
		動物臨床検査学実習	1	3	◎
		免疫学	2	2	○
		発生工学	2	2	○
		発生工学実習	1	3	◎
		動物寄生虫学	2	3	○
		実験動物学Ⅰ	2	2	○
		実験動物学Ⅱ	2	2	○
		動物疾病学	2	3	◎
		実験動物学実習	1	2	◎
		動物基礎栄養学	2	2	○
		バイオテクノロジー	2	2	○
				小計	32
※A群からE群の単位の合計は40単位以上		合計	59		計40単位

別表 1 3 (第 2 2 条関係) (日本語科目)

授業科目	単位数	時間数	年次	備考
日本語 I	1	30	1	日本語を母国語としない学生は日本語科目 8 単位を修得すること
日本語 II	1	30	1	
日本語 III	1	30	2	
日本語 IV	1	30	2	
日本語理解 I	1	30	1	
日本語理解 II	1	30	1	
日本語表現 I	1	30	3	
日本語表現 II	1	30	3	

別表 1 4 (第 3 6 条関係) (自由科目)

授業科目	単位数	時間数	年次	備考
救急災害薬学演習	1	30	1～6	薬学部薬学科で開講(2018年度以前入学生)
災害時チーム医療演習	1	30	1～6	薬学部薬学科で開講(2018年度以前入学生)
放射性医薬品の調整と品質管理	1	30	1～6	千葉大学で開催
放射性医薬品を用いたイメージング	1	30	1～6	千葉大学で開催
専門職連携教育	1	30	1～6	千葉大学で開催
医薬品安全管理演習	1	30	1～6	城西国際大学で開催
福祉看護薬学多職種連携教育演習	1	30	1～6	城西国際大学で開催
九十九里地域医療福祉実践演習	1	30	1～6	城西国際大学で開催
薬物乱用防止啓発活動	1	30	1～6	千葉科学大学・千葉大学・城西国際大学のそれぞれで開催
医薬品適正使用啓発活動	1	30	1～6	千葉科学大学・千葉大学・城西国際大学共同開催
ドーピング防止啓発活動	1	30	1～6	千葉科学大学・千葉大学・城西国際大学共同開催

別表 1 5 (第 4 3 条関係) (外部検定試験による単位認定)

外部検定試験	得点等	認定授業科目	区分	単位数	対象学科
TOEIC (IP を含む) テスト	400～499 点	英語 I	一般基礎科目	1	全学科
	500～599 点	英語 I	一般基礎科目	1	全学科
		英語 II		1	
	600～699 点	英語 I	一般基礎科目	1	全学科
英語 II		1			
実用英会話 I		1			
700 点以上	英語 I	一般基礎科目	1	全学科	
	英語 II		1		
	実用英会話 I		1		
	実用英会話 II		1		
日本語能力試験	N1 合格	日本語 I 日本語 II 日本語 III 日本語 IV	一般基礎科目	1 1 1 1	全学科
防災士	認定	消防と防災	危機管理学部 学部共通基礎科目	2	全学科

別表 16 (第 45 条関係) (海外研修プログラム)

研修先大学	認定科目及び認定単位数
フィンドリー大学 (米国) オハイオ州立ライト大学 (米国) サンダーランド大学 (英国)	2014 年度以降入学生に適用：「実用英会話Ⅰ」 1 単位 若しくは 「実用英会話Ⅱ」 1 単位 2013 年度以前入学生に適用：「英会話Ⅰ」 2 単位 若しくは 「英会話Ⅱ」 2 単位
パラナ連邦大学 (ブラジル) パラナカトリカ大学 (ブラジル) 致理技術学院 (台湾) 湖西大学 (韓国)	「生活と文化」 2 単位 若しくは 「世界と日本」 2 単位

航空技術危機管理学科航空マネジメントコース

研修先大学	認定科目及び認定単位数
オハイオ州立ライト大学 (米国) フィンドリー大学 (米国)	「実用英会話Ⅰ」 1 単位、「実用英会話Ⅱ」 1 単位、 「英文講読Ⅰ」 1 単位、「英文講読Ⅱ」 1 単位、 「生活と文化」 2 単位、「世界から見た日本の文化」 2 単位、 「外国の歴史」 2 単位、「世界と日本」 2 単位

別表 17 (第 47 条関係) (進級・卒業要件)

1 薬学部薬学科の進級・卒業要件は次のとおりである。

[令和 5 (2023) 年度以降の入学生 (薬学科) 進級・卒業要件]

i) 2 年次進級要件

2 年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	必修科目を 16 単位以上
	歴史と社会	
	保体	
	科学と実践	
	外国語 I ~IV	
専攻科目	学部基礎科目	
	物理・化学系薬学 科目	
	生命薬学 科目	
	社会薬学 科目	
	医療薬学 科目	
	臨床薬学 科目	
	キャリアアップ科 目	
	専門実習科 目	
総合科目		

※日本語を母国語としない学生は、日本語能力試験 N2 に合格すること。もしくは、BJT ビジネス日本語能力テスト 400 点以上、J. Test 実用日本語検定 575 点以上または日本留学試験 (EJU) 220 点以上を取得すること。

ii) 3 年次進級要件

3 年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	必修科目を 52 単位以上
	歴史と社会	
	保体	
	科学と実践	
	外国語 I ~IV	
専攻科目	学部基礎科目	
	物理・化学系薬学 科目	
	生命薬学 科目	
	社会薬学 科目	
	医療薬学 科目	
	臨床薬学 科目	
	キャリアアップ科 目	
	専門実習科 目	
総合科目		

iii) 4 年次進級要件

4 年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	必修科目を 97 単位以上
	歴史と社会	
	保体	
	科学と実践	
	外国語 I ~IV	
専攻科目	学部基礎科目	
	物理・化学系薬学 科目	
	生命薬学 科目	
	社会薬学 科目	
	医療薬学 科目	
	臨床薬学 科目	
	キャリアアップ科 目	
	専門実習科 目	
総合科目		

iv) 5 年次進級要件

5 年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	必修科目を 129 単位 以上
	歴史と社会	
	保体	
	科学と実践	
	外国語 I ~IV	
専攻科目	学部基礎科目	
	物理・化学系薬学 科目	
	生命薬学 科目	
	社会薬学 科目	
	医療薬学 科目	
	臨床薬学 科目	
	キャリアアップ科 目	
	専門実習科 目	11 単位
総合科目		

※日本語を母国語としない学生は、外国語 I ~IV より日本語科目 8 単位を修得すること。

v) 6年次進級要件

6年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得し、且つ「病院実務実習」及び「薬局実務実習」の科目が修得見込みである必要がある。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	
	歴史と社会	
	保体	
	科学と実践	
	外国語Ⅰ～Ⅳ	
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 131単位 以上
	物理・化学系薬学科目	
	生命薬学科目	
	社会薬学科目	
	医療薬学科目	
	臨床薬学科目	
	キャリアアップ科目	
	専門実習科目	
総合科目		

※日本語を母国語としない学生は、外国語Ⅰ～Ⅳより日本語科目8単位を修得すること。

vi) 卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	1単位以上
	歴史と社会	1単位以上
	保体	1単位以上
	科学と実践	必修科目を 2単位
	外国語Ⅰ～Ⅳ	各1単位以上 合計4単位以上※
専攻科目	学部基礎科目	170単位 以上 必修科目を すべて修得 すること
	物理・化学系薬学科目	
	生命薬学科目	
	社会薬学科目	
	医療薬学科目	
	臨床薬学科目	
	キャリアアップ科目	
	専門実習科目	
	総合科目	

※1 日本語を母国語としない学生は、外国語Ⅰ～Ⅳより日本語科目8単位を修得すること。

※2 専攻科目の必修科目167単位すべて修得すること（選択科目を3単位以上修得すること）

[令和3（2021）年度～令和4年（2022）年度の入学生（薬学科）進級・卒業要件]

i) 2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	
	歴史と社会	
	保体	
	科学と実践	
	外国語Ⅰ～Ⅳ	
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 17単位以上
	物理・化学系薬学 科目	
	生命薬学 科目	
	社会薬学 科目	
	医療薬学 科目	
	キャリアアップ科 目	
	専門実習科 目	
総合科目		

※日本語を母国語としない学生は、日本語能力試験 N2 に合格すること。もしくは、BJT ビジネス日本語能力テスト 400 点以上、J.Test 実用日本語検定 575 点以上または日本留学試験(EJU)220 点以上を取得すること。

※一般基礎科目[人間と文化]では、4年次修了までに「福祉学」を修得しなければならない。

ii) 3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	
	歴史と社会	
	保体	
	科学と実践	
	外国語Ⅰ～Ⅳ	
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 49単位以上
	物理・化学系薬学 科目	
	生命薬学 科目	
	社会薬学 科目	
	医療薬学 科目	
	キャリアアップ科 目	
	専門実習科 目	
総合科目		

iii) 4年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	
	歴史と社会	
	保体	
	科学と実践	
	外国語Ⅰ～Ⅳ	
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 94単位以上
	物理・化学系薬学 科目	
	生命薬学 科目	
	社会薬学 科目	
	医療薬学 科目	
	キャリアアップ科 目	
	専門実習科 目	
総合科目		

iv) 5年次進級要件

5年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	
	歴史と社会	
	保体	
	科学と実践	
	外国語Ⅰ～Ⅳ	
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 126単位 以上
	物理・化学系薬学 科目	
	生命薬学 科目	
	社会薬学 科目	
	医療薬学 科目	
	キャリアアップ科 目	
	専門実習科目	
総合科目		

※日本語を母国語としない学生は、外国語Ⅰ～Ⅳより日本語科目 8単位を修得すること。

v) 6年次進級要件

6年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得し、且つ「病院実務実習」及び「薬局実務実習」の科目が修得見込みである必要がある。

区分	系列	要件	
一般基礎科目	人間と文化		
	歴史と社会		
	保体		
	科学と実践		
	外国語Ⅰ～Ⅳ		
専攻科目	学部基礎科目		必修科目を 126単位 以上
	物理・化学系薬学科目		
	生命薬学科目		
	社会薬学科目		
	医療薬学科目		
	キャリアアップ科目		
	専門実習科目	11単位	
	総合科目		

※日本語を母国語としない学生は、外国語Ⅰ～Ⅳより日本語科目8単位を修得すること。

vi) 卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
一般基礎科目	人間と文化	1単位以上	16単位以上 「福祉学」を 修得すること
	歴史と社会	1単位以上	
	保体	1単位以上	
	科学と実践	必修科目を 2単位	
	外国語Ⅰ～Ⅳ	各1単位以上 合計4単位以上※	
専攻科目	学部基礎科目		170単位 以上 必修科目を すべて修得 すること
	物理・化学系薬学科目		
	生命薬学科目		
	社会薬学科目		
	医療薬学科目		
	キャリアアップ科目		
	専門実習科目		
	総合科目		

※日本語を母国語としない学生は、外国語Ⅰ～Ⅳより日本語科目8単位を修得すること。

[令和2（2020）年度の入学生（薬学科）進級・卒業要件]

i) 2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	8 単位以上
	歴史と社会	
	保体	
	科学と実践	
	外国語 I～IV	
専攻科目	学部基礎科目	8 単位以上
	物理・化学系薬学 科目	
	生命薬学 科目	
	社会薬学 科目	
	医療薬学 科目	
	キャリアアップ 科 目	
	専門実習 科 目	
総合 科 目		

※日本語を母国語としない学生は、日本語能力試験 N2 に合格すること。もしくは、BJT ビジネス日本語能力テスト 400 点以上、J.Test 実用日本語検定 575 点以上または日本留学試験(EJU)220 点以上を取得すること。

※一般基礎科目[人間と文化]では、4年次修了までに「福祉学」を修得しなければならない。

ii) 3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	30 単位以上
	歴史と社会	
	保体	
	科学と実践	
	外国語 I～IV	
専攻科目	学部基礎科目	30 単位以上
	物理・化学系薬学 科目	
	生命薬学 科目	
	社会薬学 科目	
	医療薬学 科目	
	キャリアアップ 科 目	
	専門実習 科 目	
総合 科 目		

iii) 4年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	80 単位以上
	歴史と社会	
	保体	
	科学と実践	
	外国語 I～IV	
専攻科目	学部基礎科目	80 単位以上
	物理・化学系薬学 科目	
	生命薬学 科目	
	社会薬学 科目	
	医療薬学 科目	
	キャリアアップ 科 目	
	専門実習 科 目	
総合 科 目		

iv) 5年次進級要件

5年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	必修科目を 124 単位 以上
	歴史と社会	
	保体	
	科学と実践	
	外国語 I～IV	
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 124 単位 以上
	物理・化学系薬学 科目	
	生命薬学 科目	
	社会薬学 科目	
	医療薬学 科目	
	キャリアアップ 科 目	
	専門実習 科 目	
総合 科 目		

※日本語を母国語としない学生は、外国語 I～IVより日本語科目 8 単位を修得すること。

v) 6年次進級要件

6年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得し、且つ「病院実務実習」及び「薬局実務実習」の科目が修得見込みである必要がある。

区分	系列	要件	
一般基礎科目	人間と文化		
	歴史と社会		
	保体		
	科学と実践		
	外国語 I～IV		
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 124単位 以上	
	物理・化学系薬学科目		
	生命薬学科目		
	社会薬学科目		
	医療薬学科目		
	キャリアアップ科目		
	専門実習科目		11単位
	総合科目		

※日本語を母国語としない学生は、外国語 I～IVより日本語科目 8単位を修得すること。

vi) 卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
一般基礎科目	人間と文化	1単位以上	16単位以上 「福祉学」を 修得すること
	歴史と社会	1単位以上	
	保体	1単位以上	
	科学と実践	必修科目を 2単位	
	外国語 I～IV	各1単位以上 合計4単位以上※	
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 11単位	170単位 以上 必修科目を すべて修得 すること
	物理・化学系薬学科目	必修科目を 21単位	
	生命薬学科目	必修科目を 20単位	
	社会薬学科目	17単位	
	医療薬学科目	必修科目を 34単位	
	キャリアアップ科目	必修科目を 14単位	
	専門実習科目	11単位	
	総合科目	必修科目を 34単位	

※日本語を母国語としない学生は、外国語 I～IVより日本語科目 8単位を修得すること。

[平成 31 (2019) 年度の入学生 (薬学科) 進級・卒業要件]

i) 2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	8 単位以上
	歴史と社会	
	保体	
	その他	
	外国語 I ~IV	
専攻科目	学部基礎科目	8 単位以上
	物理・化学系薬学 科目	
	生命薬学 科目	
	社会薬学 科目	
	医療薬学 科目	
	キャリアア ップ科 目	
	専門実習 科目	
総合科 目		

※日本語を母国語としない学生は、日本語能力試験 N2 に合格すること。または BJT ビジネス日本語能力テスト 400 点以上、もしくは J. Test 実用日本語検定 575 点以上を取得すること。

※一般基礎科目[人間と文化]では、4年次修了までに「福祉学」を修得しなければならない。

ii) 3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	30 単位以上
	歴史と社会	
	保体	
	その他	
	外国語 I ~IV	
専攻科目	学部基礎科目	30 単位以上
	物理・化学系薬学 科目	
	生命薬学 科目	
	社会薬学 科目	
	医療薬学 科目	
	キャリアア ップ科 目	
	専門実習 科目	
総合科 目		

iii) 4年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	80 単位以上
	歴史と社会	
	保体	
	その他	
	外国語 I ~IV	
専攻科目	学部基礎科目	80 単位以上
	物理・化学系薬学 科目	
	生命薬学 科目	
	社会薬学 科目	
	医療薬学 科目	
	キャリアア ップ科 目	
	専門実習 科目	
総合科 目		

iv) 5年次進級要件

5年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	必修科目を 124 単位 以上
	歴史と社会	
	保体	
	その他	
	外国語 I ~IV	
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 124 単位 以上
	物理・化学系薬学 科目	
	生命薬学 科目	
	社会薬学 科目	
	医療薬学 科目	
	キャリアア ップ科 目	
	専門実習 科目	
総合科 目		

※日本語を母国語としない学生は、外国語 I ~IVより日本語科目 8 単位を修得すること。

v) 6年次進級要件

6年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得し、且つ「病院実務実習」及び「薬局実務実習」の科目が修得見込みである必要がある。

区分	系列	要件	
一般基礎科目	人間と文化		
	歴史と社会		
	保体		
	その他		
	外国語Ⅰ～Ⅳ		
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 124単位 以上	
	物理・化学系薬学科 目		
	生命薬学科目		
	社会薬学科目		
	医療薬学科目		
	キャリアアップ科 目		
	専門実習科目		11単位
	総合科目		

※日本語を母国語としない学生は、外国語Ⅰ～Ⅳより日本語科目8単位を修得すること。

vi) 卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
一般基礎科目	人間と文化	1単位以上	
	歴史と社会	1単位以上	
	保体	1単位以上	
	その他	必修科目を 2単位	
	外国語Ⅰ～Ⅳ	各1単位以上 合計4単位以上※	
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 11単位	
	物理・化学系薬学科 目	必修科目を 21単位	
	生命薬学科目	必修科目を 20単位	
	社会薬学科目	17単位	
	医療薬学科目	必修科目を 34単位	
	キャリアアップ科 目	必修科目を 14単位	
	専門実習科目	11単位	
	総合科目	必修科目を 34単位	
			170単位 以上 必修科目を すべて修得 すること
			16単位以上 「福祉学」を 修得すること

※日本語を母国語としない学生は、外国語Ⅰ～Ⅳより日本語科目8単位を修得すること。

[平成 30 (2018) 年度入学生 (薬学科) 進級・卒業要件]

i) 2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
一般基礎科目	人間と文化	8 単位以上	
	歴史と社会		
	保体		
	その他		
	外国語 I ~ IV		1 単位以上
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 23 単位以上	
	学科基礎科目		実験科目を 3 単位
	化学系薬学科目		
	物理系薬学科目		
	生命薬学科目		
	社会薬学科目		

※日本語を母国語としない学生は、日本語能力試験 N2 に合格すること。または BJT ビジネス日本語能力テスト 400 点以上、もしくは J. Test 実用日本語検定 575 点以上を取得すること。

※一般基礎科目[人間と文化]では、卒業までに「福祉学」及び「生命倫理学」の 2 科目を修得しなければならない。

ii) 3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
一般基礎科目	人間と文化	12 単位以上	
	歴史と社会		
	保体		
	その他		
	外国語 I ~ IV		3 単位以上
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 69 単位以上	
	学科基礎科目		実験科目を 3 単位
	化学系薬学科目		
	物理系薬学科目		
	生命薬学科目		
	社会薬学科目		
	医療薬学科目		
	専門実習科目		6 単位

iii) 4年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
一般基礎科目	人間と文化	16 単位以上	
	歴史と社会		
	保体		
	その他		
	外国語 I ~ IV		各 1 単位以上 合計 4 単位以上※
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 122 単位以上	
	学科基礎科目		実験科目を 3 単位
	化学系薬学科目		
	物理系薬学科目		
	生命薬学科目		
	社会薬学科目		
	医療薬学科目		
	専門実習科目		1 1 単位
総合科目			

※日本語を母国語としない学生は、外国語 I ~ IV より日本語科目 8 単位を修得すること。

iv) 5年次進級要件

5年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得し、且つ「事前病院・薬局実務実習」の単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
一般基礎科目	人間と文化	16 単位以上	
	歴史と社会		
	保体		
	その他		
	外国語 I ~ IV		各 1 単位以上 合計 4 単位以上※
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 151 単位以上	
	学科基礎科目		実験科目を 3 単位
	化学系薬学科目		
	物理系薬学科目		
	生命薬学科目		
	医療薬学科目		
	社会薬学科目		
	専門実習科目		1 1 単位
総合科目	1 2 単位		

※日本語を母国語としない学生は、外国語 I ~ IV より日本語科目 8 単位を修得すること。

v) 6年次進級要件

6年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得し、且つ「病院実務実習」及び「薬局実務実習」の科目を履修しなければならない。

区分	系列	要件	
一般基礎科目	人間と文化	「福祉学」又は「生命倫理学」を修得すること	16 単位以上
	歴史と社会		
	保体		
	その他		
	外国語 I～IV	各 1 単位以上 合計 4 単位以上※	
専攻科目	学部基礎科目		必修科目を 158 単位以上
	学科基礎科目	実験科目を 3 単位	
	化学系薬学科目		
	物理系薬学科目		
	生命薬学科目		
	医療薬学科目		
	社会薬学科目		
	専門実習科目	11 単位	
	総合科目	13 単位	

※日本語を母国語としない学生は、外国語 I～IV より日本語科目 8 単位を修得すること。

vi) 卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
一般基礎科目	人間と文化	4 単位以上	16 単位以上 「福祉学」 「生命倫理学」の 2 科目を 修得すること
	歴史と社会	1 単位以上	
	保体	1 単位以上	
	その他	必修科目を 2 単位	
	外国語 I～IV	各 1 単位以上 合計 4 単位以上※	
専攻科目	学部基礎科目	4 単位以上	196 単位以上 必修科目を すべて修得すること
	学科基礎科目	11 単位以上	
	化学系薬学科目	16 単位	
	物理系薬学科目	14 単位	
	生命薬学科目	28 単位以上	
	社会薬学科目	16 単位	
	医療薬学科目	48 単位以上	
	専門実習科目	11 単位	
総合科目	48 単位		

※日本語を母国語としない学生は、外国語 I～IV より日本語科目 8 単位を修得すること。

[平成 29 (2017) 年度入学生 (薬学科) 進級・卒業要件]

i) 2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
一般基礎科目	人間と文化	8 単位以上	
	歴史と社会		
	保体		
	その他		
	外国語 I ~ IV		1 単位以上
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 23 単位以上	
	学科基礎科目		実験科目を 3 単位
	化学系薬学科目		
	物理系薬学科目		
	生命薬学科目		
社会薬学科目			

※日本語を母国語としない学生は、日本語能力試験 N2 を取得すること。

※一般基礎科目[人間と文化]では、卒業までに「福祉学」及び「生命倫理学」の 2 科目を修得しなければならない。

ii) 3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
一般基礎科目	人間と文化	12 単位以上	
	歴史と社会		
	保体		
	その他		
	外国語 I ~ IV		3 単位以上
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 69 単位以上	
	学科基礎科目		実験科目を 3 単位
	化学系薬学科目		
	物理系薬学科目		
	生命薬学科目		
	社会薬学科目		
	医療薬学科目		
	専門実習科目		6 単位

iii) 4年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
一般基礎科目	人間と文化	16 単位以上	
	歴史と社会		
	保体		
	その他		
	外国語 I ~ IV		各 1 単位以上 合計 4 単位以上※
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 122 単位以上	
	学科基礎科目		実験科目を 3 単位
	化学系薬学科目		
	物理系薬学科目		
	生命薬学科目		
	社会薬学科目		
	医療薬学科目		
	専門実習科目		1 1 単位
総合科目			

※日本語を母国語としない学生は、外国語 I ~ IV より日本語科目 8 単位を修得すること。

iv) 5年次進級要件

5年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得し、且つ「事前病院・薬局実務実習」の単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
一般基礎科目	人間と文化	16 単位以上	
	歴史と社会		
	保体		
	その他		
	外国語 I ~ IV		各 1 単位以上 合計 4 単位以上※
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 151 単位以上	
	学科基礎科目		実験科目を 3 単位
	化学系薬学科目		
	物理系薬学科目		
	生命薬学科目		
	医療薬学科目		
	社会薬学科目		
	専門実習科目		1 1 単位
総合科目	1 2 単位		

※日本語を母国語としない学生は、外国語 I ~ IV より日本語科目 8 単位を修得すること。

v) 6年次進級要件

6年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得し、且つ「病院実務実習」及び「薬局実務実習」の科目を履修しなければならない。

区分	系列	要件	
一般基礎科目	人間と文化	「福祉学」又は「生命倫理学」を修得すること	16 単位以上
	歴史と社会		
	保体		
	その他		
	外国語 I～IV	各 1 単位以上 合計 4 単位以上※	
専攻科目	学部基礎科目		必修科目を 158 単位以上
	学科基礎科目	実験科目を 3 単位	
	化学系薬学科目		
	物理系薬学科目		
	生命薬学科目		
	医療薬学科目		
	社会薬学科目		
	専門実習科目	11 単位	
	総合科目	13 単位	

※日本語を母国語としない学生は、外国語 I～IV より日本語科目 8 単位を修得すること。

vi) 卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
一般基礎科目	人間と文化	4 単位以上	16 単位以上 「福祉学」 「生命倫理学」の 2 科目を 修得すること
	歴史と社会	1 単位以上	
	保体	1 単位以上	
	その他	必修科目を 2 単位	
	外国語 I～IV	各 1 単位以上 合計 4 単位以上※	
専攻科目	学部基礎科目	4 単位以上	196 単位以上 必修科目を すべて修得すること
	学科基礎科目	11 単位以上	
	化学系薬学科目	16 単位	
	物理系薬学科目	14 単位	
	生命薬学科目	28 単位以上	
	社会薬学科目	16 単位	
	医療薬学科目	48 単位以上	
	専門実習科目	11 単位	
総合科目	48 単位		

※日本語を母国語としない学生は、外国語 I～IV より日本語科目 8 単位を修得すること。

[平成 27～28 (2015～2016) 年度入学生 (薬学科) 進級・卒業要件]

i) 2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
一般基礎科目	人間と文化	8 単位以上	
	歴史と社会		
	保体		
	その他		
	外国語 I～IV		1 単位以上
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 25 単位以上	
	学科基礎科目		実験科目を 3 単位
	化学系薬学科目		
	物理系薬学科目		
	生命薬学科目		
社会薬学科目			

※日本語を母国語としない学生は、日本語能力試験 N2 を取得すること。

※一般基礎科目[人間と文化]では、卒業までに「福祉学」及び「生命倫理学」の 2 科目を修得しなければならない。

ii) 3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
一般基礎科目	人間と文化	12 単位以上	
	歴史と社会		
	保体		
	その他		
	外国語 I～IV		3 単位以上
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 71 単位以上	
	学科基礎科目		実験科目を 3 単位
	化学系薬学科目		
	物理系薬学科目		
	生命薬学科目		
	社会薬学科目		
	医療薬学科目		
	専門実習科目		6 単位

iii) 4年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
一般基礎科目	人間と文化	16 単位以上	
	歴史と社会		
	保体		
	その他		
	外国語 I～IV		各 1 単位以上 合計 4 単位以上※
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 1 2 2 単位以上	
	学科基礎科目		実験科目を 3 単位
	化学系薬学科目		
	物理系薬学科目		
	生命薬学科目		
	社会薬学科目		
	医療薬学科目		
	専門実習科目		1 1 単位
総合科目			

※日本語を母国語としない学生は、外国語 I～IV より日本語科目 8 単位を修得すること。

iv) 5年次進級要件

5年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得し、かつ「事前病院・薬局実務実習」の単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
一般基礎科目	人間と文化	16 単位以上	
	歴史と社会		
	保体		
	その他		
	外国語 I～IV		各 1 単位以上 合計 4 単位以上※
専攻科目	学部基礎科目	必修科目を 1 5 1 単位以上	
	学科基礎科目		実験科目を 3 単位
	化学系薬学科目		
	物理系薬学科目		
	生命薬学科目		
	医療薬学科目		
	社会薬学科目		
	専門実習科目		1 1 単位
総合科目	1 2 単位		

※日本語を母国語としない学生は、外国語 I～IV より日本語科目 8 単位を修得すること。

v) 6年次進級要件

6年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得し、かつ「病院実務実習」及び「薬局実務実習」の科目を履修しなければならない。

区分	系列	要件	
一般基礎科目	人間と文化	「福祉学」又は「生命倫理学」を修得すること	16 単位以上
	歴史と社会		
	保体		
	その他		
	外国語 I～IV	各 1 単位以上 合計 4 単位以上※	
専攻科目	学部基礎科目		必修科目を 158 単位以上
	学科基礎科目	実験科目を 3 単位	
	化学系薬学科目		
	物理系薬学科目		
	生命薬学科目		
	医療薬学科目		
	社会薬学科目		
	専門実習科目	11 単位	
	総合科目	13 単位	

※日本語を母国語としない学生は、外国語 I～IV より日本語科目 8 単位を修得すること。

vi) 卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
一般基礎科目	人間と文化	4 単位以上	16 単位以上 「福祉学」 「生命倫理学」の 2 科目を 修得すること
	歴史と社会	1 単位以上	
	保体	1 単位以上	
	その他	必修科目を 2 単位	
	外国語 I～IV	各 1 単位以上 合計 4 単位以上※	
専攻科目	学部基礎科目	4 単位以上	196 単位以上 必修科目を すべて修得すること
	学科基礎科目	11 単位以上	
	化学系薬学科目	16 単位	
	物理系薬学科目	14 単位	
	生命薬学科目	28 単位以上	
	社会薬学科目	16 単位	
	医療薬学科目	48 単位以上	
	専門実習科目	11 単位	
総合科目	34 単位以上		

※日本語を母国語としない学生は、外国語 I～IV より日本語科目 8 単位を修得すること。

[平成 26 (2014) 年度入学生 (薬学科) 進級・卒業要件]

i) 2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
一般基礎科目	人間と文化	6 単位以上	
	歴史と社会		
	保体		
	その他		
	外国語 I ~ IV		1 単位以上
専攻科目	学部共通基礎科目	23 単位以上	
	化学系薬学科目		実験科目を 3 単位
	物理系薬学科目		
	生命薬学科目		

※日本語を母国語としない学生は、日本語能力試験 N2 を取得すること。

ii) 3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	12 単位以上
	歴史と社会	
	保体	
	その他	
	外国語 I ~ IV	
専攻科目	学部共通基礎科目	6 9 単位以上 1 年次の必修科目をすべて修得すること
	化学系薬学科目	
	物理系薬学科目	
	生命薬学科目	
	医療薬学科目	
	専門実習科目	

iii) 4年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	16 単位以上
	歴史と社会	
	保体	
	その他	
	外国語 I ~ IV	
専攻科目	学部共通基礎科目	1 1 8 単位以上 2 年次までの必修科目をすべて修得すること
	化学系薬学科目	
	物理系薬学科目	
	生命薬学科目	
	医療薬学科目	
	専門選択科目	
	専門実習科目	

※日本語を母国語としない学生は、外国語 I ~ IV より日本語科目 8 単位を修得すること。

iv) 5年次進級要件

5年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得し、かつ「事前病院・薬局実務実習」の単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
一般基礎科目	人間と文化	16 単位以上	
	歴史と社会		
	保体		
	その他		
	外国語 I ~ IV		各 1 単位以上 合計 4 単位以上※
専攻科目	学部共通基礎科目	1 3 1 単位以上 3 年次までの必修科目をすべて修得すること	
	化学系薬学科目		1 4 単位
	物理系薬学科目		1 4 単位
	生命薬学科目		3 0 単位
	医療薬学科目		3 4 単位以上
	専門選択科目		
	専門実習科目		1 2 単位
	総合科目		1 2 単位

※日本語を母国語としない学生は、外国語 I ~ IV より日本語科目 8 単位を修得すること。

v) 6年次進級要件

6年次に進級するためには、「病院実務実習」及び「薬局実務実習」の単位を修得しなければならない。

vi) 卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
一般基礎科目	人間と文化	1 単位以上	
	歴史と社会	1 単位以上	
	保体	1 単位以上	
	その他	必修科目を 2 単位	
	外国語 I ~ IV	各 1 単位以上 合計 4 単位以上※	
専攻科目	学部共通基礎科目	1 8 3 単位以上 必修科目をすべて修得すること	
	化学系薬学科目		1 4 単位
	物理系薬学科目		1 4 単位
	生命薬学科目		3 0 単位
	医療薬学科目		4 4 単位以上
	専門選択科目		2 単位以上
	専門実習科目		1 2 単位
	総合科目		4 5 単位

※日本語を母国語としない学生は、外国語 I ~ IV より日本語科目 8 単位を修得すること。

[平成 24～25 (2012～2013) 年度入学生 (薬学科) 進級・卒業要件]

i) 2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	6 単位以上
	歴史と社会	
	保体	
	その他	
	外国語※	必修科目を 2 単位以上
専攻科目	学部共通基礎科目	23 単位以上
	化学系薬学科目	
	物理系薬学科目	
	生命薬学科目	
		実験科目を 3 単位

※留学生において、日本語を外国語科目として履修している場合は、日本語 2 科目を修得していること。

ii) 3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	12 単位以上
	歴史と社会	
	保体	
	その他	
	外国語※	必修科目を 6 単位以上
専攻科目	学部共通基礎科目	6 9 単位以上 1 年次の必修科目をすべて修得すること
	化学系薬学科目	
	物理系薬学科目	
	生命薬学科目	
	医療薬学科目	
	専門実習科目	5 単位

※留学生において、日本語を外国語科目として履修している場合は、日本語 4 科目 1 2 単位をすべて修得しなければならない。

iii) 4年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	17 単位以上
	歴史と社会	
	保体	
	その他	
	外国語	必修科目を 8 単位
専攻科目	学部共通基礎科目	1 1 8 単位以上 2 年次の必修科目をすべて修得すること
	化学系薬学科目	
	物理系薬学科目	
	生命薬学科目	
	医療薬学科目	
	専門実習科目	
	専門選択科目	

iv) 5年次進級要件

5年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得し、かつ「事前病院・薬局実務実習」の単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
一般基礎科目	人間と文化	17 単位以上	
	歴史と社会		
	保体		
	その他		
	外国語		必修科目を 8 単位
専攻科目	学部共通基礎科目	1 3 1 単位以上 3 年次の必修科目をすべて修得すること	
	化学系薬学科目		1 4 単位
	物理系薬学科目		1 4 単位
	生命薬学科目		3 0 単位
	医療薬学科目		3 4 単位以上
	専門選択科目		
	専門実習科目		1 2 単位
総合科目	1 2 単位		

v) 6年次進級要件

6年次に進級するためには、「病院実務実習」及び「薬局実務実習」の単位を修得しなければならない。

vi) 卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
一般基礎科目	人間と文化	1 単位以上	
	歴史と社会	1 単位以上	
	保体	1 単位以上	
	その他	必修科目を 2 単位	
	外国語	必修科目を 8 単位	
専攻科目	学部共通基礎科目	1 8 2 単位以上 必修科目をすべて修得すること	
	化学系薬学科目		1 4 単位
	物理系薬学科目		1 4 単位
	生命薬学科目		3 0 単位
	医療薬学科目		4 4 単位以上
	専門選択科目		2 単位以上
	専門実習科目		1 2 単位
総合科目	4 5 単位		

◎同一名称科目を除く他学科の専攻科目は、授業の担当教員、所属学科長及び教務課で承認を得れば履修することができ、修得した単位は 2 0 単位まで進級・卒業に必要な専攻科目の単位に加えることができる。

[平成 23 (2011) 年度入学生 (薬学科) 進級・卒業要件]

i) 2 年次進級要件

2 年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	6 単位以上
	歴史と社会	
	保体	
	その他	
	外国語※	必修科目を 2 単位以上
専攻科目	学部共通基礎科目	23 単位以上
	化学系薬学科目	
	物理系薬学科目	
	生命薬学科目	
		実習科目を 3 単位

※留学生において、日本語を外国語科目として履修している場合は、日本語 2 科目を修得していること。

ii) 3 年次進級要件

3 年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	12 単位以上
	歴史と社会	
	保体	
	その他	
	外国語※	必修科目を 6 単位以上
専攻科目	学部共通基礎科目	7 3 単位以上 1 年次の必修科目をすべて修得すること
	化学系薬学科目	
	物理系薬学科目	
	生命薬学科目	
	医療薬学科目	
	専門実習科目	

※留学生において、日本語を外国語科目として履修している場合は、日本語 4 科目 12 単位をすべて修得しなければならない。

iii) 4 年次進級要件

4 年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	16 単位以上
	歴史と社会	
	保体	
	その他	
	外国語	必修科目を 8 単位
専攻科目	学部共通基礎科目	1 1 8 単位以上 2 年次の必修科目をすべて修得すること
	化学系薬学科目	
	物理系薬学科目	
	生命薬学科目	
	医療薬学科目	
	専門実習科目	

iv) 5 年次進級要件

5 年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得し、かつ「事前病院・薬局実務実習」の単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
一般基礎科目	人間と文化	16 単位以上	
	歴史と社会		
	保体		
	その他		
	外国語		必修科目を 8 単位
専攻科目	学部共通基礎科目	2 3 単位以上	1 3 1 単位以上 3 年次の必修科目をすべて修得すること
	化学系薬学科目	1 6 単位以上	
	物理系薬学科目	1 4 単位	
	生命薬学科目	3 0 単位以上	
	医療薬学科目	3 4 単位以上	
	専門選択科目		
	専門実習科目	1 4 単位	

v) 6 年次進級要件

6 年次に進級するためには、「病院実務実習」及び「薬局実務実習」の単位を修得しなければならない。

vi) 卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
一般基礎科目	人間と文化	1 単位以上	16 単位以上
	歴史と社会	1 単位以上	
	保体	1 単位以上	
	その他	必修科目を 2 単位	
	外国語	必修科目を 8 単位	
専攻科目	学部共通基礎科目	2 3 単位以上	1 8 3 単位以上 必修科目をすべて修得すること
	化学系薬学科目	1 7 単位以上	
	物理系薬学科目	1 4 単位	
	生命薬学科目	3 1 単位以上	
	医療薬学科目	4 4 単位以上	
	専門選択科目	2 単位以上	
	専門実習科目	1 4 単位	
総合演習科目	3 8 単位以上		

◎同一名称科目を除く他学科の専攻科目は、授業の担当教員、所属学科長及び教務課で承認を得れば履修することができ、修得した単位は 2 0 単位まで進級・卒業に必要な専攻科目の単位に加えることができる。

[平成 22 (2010) 年度入学生 (薬学科) 進級・卒業要件]

i) 2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	6 単位以上
	歴史と社会	
	保体	
	その他	
	外国語	必修科目を 2 単位以上
専攻科目	学部共通基礎科目	23 単位以上
	化学系薬学科目	
	物理系薬学科目	
	生命薬学科目	
		実習科目を 3 単位

ii) 3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	12 単位以上
	歴史と社会	
	保体	
	その他	
	外国語	必修科目を 6 単位以上
専攻科目	学部共通基礎科目	73 単位以上 1 年次の必修科目をすべて修得すること
	化学系薬学科目	
	物理系薬学科目	
	生命薬学科目	
	医療薬学科目	
	専門実習科目	

iii) 4年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	16 単位以上
	歴史と社会	
	保体	
	その他	
	外国語	必修科目を 8 単位
専攻科目	学部共通基礎科目	118 単位以上 2 年次の必修科目をすべて修得すること
	化学系薬学科目	
	物理系薬学科目	
	生命薬学科目	
	医療薬学科目	
	専門実習科目	
	専門選択科目	

iv) 5年次進級要件

5年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得し、かつ「事前病院・薬局実務実習」の単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	16 単位以上
	歴史と社会	
	保体	
	その他	
	外国語	必修科目を 8 単位
専攻科目	学部共通基礎科目	131 単位以上 3 年次の必修科目をすべて修得すること
	化学系薬学科目	
	物理系薬学科目	
	生命薬学科目	
	医療薬学科目	
	専門選択科目	
	専門実習科目	
	23 単位以上	
	16 単位以上	
	14 単位	
	30 単位以上	
	34 単位以上	

v) 6年次進級要件

6年次に進級するためには、「病院実務実習」及び「薬局実務実習」の単位を修得しなければならない。

vi) 卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	16 単位以上
	歴史と社会	
	保体	
	その他	
	外国語	必修科目を 8 単位
専攻科目	学部共通基礎科目	183 単位以上 必修科目をすべて修得すること
	化学系薬学科目	
	物理系薬学科目	
	生命薬学科目	
	医療薬学科目	
	専門選択科目	
	専門実習科目	
	7 単位以上	
	1 単位以上	
	1 単位以上	
	1 単位以上	
	2 3 単位以上	
	17 単位以上	
	14 単位	
	31 単位以上	
	44 単位以上	
	2 単位以上	
	14 単位	
	38 単位以上	

[平成 21 (2009) 年度入学生 (薬学科) 進級・卒業要件]

i) 2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	6 単位以上
	歴史と社会	
	保体	
	その他	
外国語	必修科目を 2 単位以上	
専攻科目	基礎科目	33 単位以上
	化学系薬学科目	
	物理系薬学科目	
	生命薬学科目	
	実習科目を 3 単位	

ii) 3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	12 単位以上
	歴史と社会	
	保体	
	その他	
外国語	必修科目を 6 単位以上	
専攻科目	基礎科目	73 単位以上 1 年次の必修科目をすべて修得すること
	化学系薬学科目	
	物理系薬学科目	
	生命薬学科目	
	医療薬学科目	
	専門実習科目	

iii) 4年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	16 単位以上
	歴史と社会	
	保体	
	その他	
外国語	必修科目を 8 単位	
専攻科目	基礎科目	118 単位以上 2 年次の必修科目をすべて修得すること
	化学系薬学科目	
	物理系薬学科目	
	生命薬学科目	
	医療薬学科目	
専門実習科目	12 単位	

iv) 5年次進級要件

5年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得し、かつ「事前病院・薬局実務実習」の単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	16 単位以上
	歴史と社会	
	保体	
	その他	
外国語	必修科目を 8 単位	
専攻科目	基礎科目	23 単位以上
	化学系薬学科目	16 単位以上
	物理系薬学科目	14 単位
	生命薬学科目	30 単位以上
	医療薬学科目	34 単位以上
	専門選択科目	
	専門実習科目	14 単位
		131 単位以上 3 年次の必修科目をすべて修得すること

v) 6年次進級要件

6年次に進級するためには、「病院実務実習」及び「薬局実務実習」の単位を修得しなければならない。

vi) 卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	1 単位以上
	歴史と社会	1 単位以上
	保体	1 単位以上
	その他	1 単位以上
	外国語	必修科目を 8 単位
専攻科目	基礎科目	23 単位以上
	化学系薬学科目	17 単位以上
	物理系薬学科目	14 単位
	生命薬学科目	31 単位以上
	医療薬学科目	44 単位以上
	専門選択科目	2 単位以上
	専門実習科目	14 単位
総合演習科目	38 単位以上	
		7 単位以上 16 単位以上 183 単位以上 必修科目をすべて修得すること

[平成 20 (2008) 年度入学生 (薬学科) 進級・卒業要件]

i) 2 年次進級要件

2 年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
一般基礎科目	人間と文化	6 単位以上	
	歴史と社会		
	保体		
	その他		
	外国語		必修科目を 2 単位以上
専攻科目	基礎科目	33 単位以上	
	化学系薬学科目		実習科目を 3 単位
	物理系薬学科目		
	生命薬学科目		

ii) 3 年次進級要件

3 年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	12 単位以上
	歴史と社会	
	保体	
	その他	
	外国語	
専攻科目	基礎科目	73 単位以上 1 年次の必修科目をすべて修得すること
	化学系薬学科目	
	物理系薬学科目	
	生命薬学科目	
	医療薬学科目	
	専門実習科目	

iii) 4 年次進級要件

4 年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件
一般基礎科目	人間と文化	16 単位以上
	歴史と社会	
	保体	
	その他	
	外国語	
専攻科目	基礎科目	1 1 3 単位以上 2 年次の必修科目をすべて修得すること
	化学系薬学科目	
	物理系薬学科目	
	生命薬学科目	
	医療薬学科目	
	専門実習科目	

iv) 5 年次進級要件

5 年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
一般基礎科目	人間と文化	16 単位以上	
	歴史と社会		
	保体		
	その他		
	外国語		必修科目を 8 単位
専攻科目	基礎科目	2 3 単位以上	1 3 1 単位以上 3 年次の必修科目をすべて修得すること
	化学系薬学科目	1 6 単位以上	
	物理系薬学科目	1 4 単位	
	生命薬学科目	3 0 単位以上	
	医療薬学科目	3 4 単位以上	
	専門選択科目		
専門実習科目	1 4 単位		

v) 6 年次進級要件

6 年次に進級するためには、「病院実務実習」及び「薬局実務実習」の単位を修得しなければならない。

vi) 卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列	要件	
一般基礎科目	人間と文化	1 単位以上	16 単位以上
	歴史と社会	1 単位以上	
	保体	1 単位以上	
	その他	1 単位以上	
	外国語	必修科目を 8 単位	
		7 単位以上	
専攻科目	基礎科目	2 3 単位以上	1 8 3 単位以上 必修科目をすべて修得すること
	化学系薬学科目	1 7 単位以上	
	物理系薬学科目	1 4 単位	
	生命薬学科目	3 1 単位以上	
	医療薬学科目	4 4 単位以上	
	専門選択科目	2 単位以上	
	専門実習科目	1 4 単位	
総合演習科目	3 8 単位以上		

2 危機管理学部各学科の進級・卒業要件は次のとおりである。

[令和5（2023）年度以降の入学生（危機管理学部）進級・卒業要件]

i) 2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

学 科	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理学科				
保健医療学科			24 単位以上	
航空技術危機管理学科			24 単位以上	日本語を母国語としない学生は、日本語能力試験N2に合格すること。もしくは、BJT ビジネス日本語能力テスト 400 点以上、J. Test 実用日本語検定 575 点以上または日本留学試験(EJU)220 点以上を取得すること。
動物危機管理学科			24 単位以上	

ii) 3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

学 科	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理学科			50 単位以上	
保健医療学科			64 単位以上	
航空技術危機管理学科			64 単位以上	
動物危機管理学科			64 単位以上	

iii) 4年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

学 科	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理学科			80 単位以上	
保健医療学科			104 単位以上	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。
航空技術危機管理学科			104 単位以上	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。ただしエアラインパイロットプログラムを受講の学生は、合計96単位以上修得すること。
動物危機管理学科			104 単位以上	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。

iv) 卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

※卒業要件合計 124 単位以上のうち、一般基礎科目 16 単位以上及び専攻科目 104 単位以上必要であるため、残り 4 単位以上は一般基礎科目及び専攻科目のどちらから修得してもかまわない。

学 科	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理学科	16 単位以上	104 単位以上	124 単位以上	1. 必修科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保健]から1単位以上、修得すること。 3. 日本語を母国語とする学生は[外国語 I～IV]より各1単位以上、合計4単位以上修得すること。 4. 日本語を母国語としない学生は[外国語 I～IV]より日本語科目8単位を修得すること。

保健医療学科	16 単位 以上	104 単位 以上	124 単位 以上	<ol style="list-style-type: none"> 1. 必修科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保体]から1単位以上、修得すること。 3. 日本語を母国語とする学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より各1単位以上、合計4単位以上修得すること。 4. 日本語を母国語としない学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より日本語科目8単位を修得すること。
航空技術危機管理学科	16 単位 以上	104 単位 以上	124 単位 以上	<ol style="list-style-type: none"> 1. 必修科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保体]から1単位以上、修得すること。 3. 日本語を母国語とする学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より各1単位以上、合計4単位以上修得すること。 4. 日本語を母国語としない学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より日本語科目8単位を修得すること。
動物危機管理学科	16 単位 以上	104 単位 以上	124 単位 以上	<ol style="list-style-type: none"> 1. 必修科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保体]から1単位以上、修得すること。 3. 日本語を母国語とする学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より各1単位以上、合計4単位以上修得すること。 4. 日本語を母国語としない学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より日本語科目8単位を修得すること。

※同一名称科目を除く他学科の専攻科目は、授業の担当教員、所属学科長及び教務課で承認を得れば履修することができ、修得した単位は36単位まで進級・卒業に必要な専攻科目の単位に加えることができる。

[令和2～4（2020～2022）年度の入学生（危機管理学部）進級・卒業要件]

i) 2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

学 科	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理学科				
保健医療学科			24 単位以上	
航空技術危機管理学科			24 単位以上	日本語を母国語としない学生は、日本語能力試験N2に合格すること。 もしくは、BJT ビジネス日本語能力テスト 400 点以上、J. Test 実用日本語検定 575 点以上または日本留学試験(EJU)220 点以上を取得すること。
動物危機管理学科			24 単位以上	

ii) 3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

学部	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理学部			64 単位以上	

iii) 4年次進級要件

4年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

学 科	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理学科			104 単位以上	
保健医療学科			104 単位以上	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。
航空技術危機管理学科			104 単位以上	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。 ただしエアラインパイロットプログラムを受講の学生は、合計96単位以上修得すること。
動物危機管理学科			104 単位以上	3年次までの必修科目と、1年次の外国語科目をすべて修得すること。

iv) 卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

※卒業要件合計 124 単位以上のうち、一般基礎科目 16 単位以上及び専攻科目 104 単位以上必要であるため、残り 4 単位以上は一般基礎科目及び専攻科目のどちらから修得してもかまわない。

学 科	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理学科	16 単位以上	104 単位以上	124 単位以上	1. 必修科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保健]から1単位以上、修得すること。 3. 日本語を母国語とする学生は[外国語 I～IV]より各1単位以上、合計4単位以上修得すること。 4. 日本語を母国語としない学生は[外国語 I～IV]より日本語科目8単位を修得すること。
保健医療学科	16 単位以上	104 単位以上	124 単位以上	1. 必修科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保健]から1単位以上、修得すること。 3. 日本語を母国語とする学生は[外国語 I～IV]より各1単位以上、合計4単位以上修得すること。 4. 日本語を母国語としない学生は[外国語 I～IV]より日本語科目8単位を修得すること。

航空技術危機管理学科	16 単位 以上	104 単位 以上	124 単位 以上	<ol style="list-style-type: none"> 1. 必修科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保健]から1単位以上、修得すること。 3. 日本語を母国語とする学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より各1単位以上、合計4単位以上修得すること。 4. 日本語を母国語としない学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より日本語科目8単位を修得すること。
動物危機管理学科	16 単位 以上	104 単位 以上	124 単位 以上	<ol style="list-style-type: none"> 1. 必修科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保健]から1単位以上、修得すること。 3. 日本語を母国語とする学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より各1単位以上、合計4単位以上修得すること。 4. 日本語を母国語としない学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より日本語科目8単位を修得すること。

※同一名称科目を除く他学科の専攻科目は、授業の担当教員、所属学科長及び教務課で承認を得れば履修することができ、修得した単位は36単位まで進級・卒業に必要な専攻科目の単位に加えることができる。

[平成 31 (2019) 年度の入学生 (危機管理学部) 進級・卒業要件]

i) 2 年次進級要件

2 年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

学 科	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理学科				
保健医療学科			24 単位以上	日本語を母国語としない学生は、日本語能力試験 N 2 に合格すること。 または BJT ビジネス日本語能力テスト 400 点以上、もしくは J. Test 実用日本語検定 575 点以上を取得すること。
航空技術危機管理学科			24 単位以上	
動物危機管理学科			24 単位以上	

ii) 3 年次進級要件

3 年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

学部	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理学部			64 単位以上	

iii) 4 年次進級要件

4 年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

学 科	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理学科			104 単位以上	
保健医療学科			104 単位以上	3 年次までの必修科目と、1 年次の外国語科目をすべて修得すること。
航空技術危機管理学科			104 単位以上	3 年次までの必修科目と、1 年次の外国語科目をすべて修得すること。 ただしエアラインパイロットプログラムを受講の学生は、合計 9 6 単位以上修得すること。
動物危機管理学科			104 単位以上	3 年次までの必修科目と、1 年次の外国語科目をすべて修得すること。

iv) 卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

※卒業要件合計 124 単位以上のうち、一般基礎科目 16 単位以上及び専攻科目 104 単位以上必要であるため、残り 4 単位以上は一般基礎科目及び専攻科目のどちらから修得してもかまわない。

学 科	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理学科	16 単位以上	104 単位以上	124 単位以上	1. 必修科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化]から 1 単位以上、[歴史と社会]から 1 単位以上、[保健]から 1 単位以上、修得すること。 3. 日本語を母国語とする学生は[外国語 I ~ IV]より各 1 単位以上、合計 4 単位以上修得すること。 4. 日本語を母国語としない学生は[外国語 I ~ IV]より日本語科目 8 単位を修得すること。
保健医療学科	16 単位以上	104 単位以上	124 単位以上	1. 必修科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化]から 1 単位以上、[歴史と社会]から 1 単位以上、[保健]から 1 単位以上、修得すること。 3. 日本語を母国語とする学生は[外国語 I ~ IV]より各 1 単位以上、合計 4 単位以上修得すること。 4. 日本語を母国語としない学生は[外国語 I ~ IV]より日本語科目 8 単位を修得すること。 5. 臨床工学コースの学生は、[学科基礎科目]から基礎数学演習、応用

				<p>数学、応用数学演習、物理学Ⅰ、物理学Ⅱ、生物学Ⅱ、物理学実験、[学科基礎医学科目]から医用工学概論、医用工学実習、[臨床検査学・臨床工学共通専門科目]から臨床病態学Ⅰ、臨床病態学Ⅱ、臨床病態学Ⅲ、[臨床工学コース専門科目]から、プログラミング又はコンピュータグラフィックスを修得すること。</p> <p>6. 臨床検査学コースの学生は、[学科基礎科目]から、物理学Ⅰ、化学Ⅰ、化学Ⅱ、生物学Ⅱ、物理学実験、化学実験、[学科基礎医学科目]から放射化学、医用工学概論、医用工学実習、[臨床検査学・臨床工学共通専門科目]から生理学実習、生化学実習、[臨床検査学コース専門科目]から解剖学実習、遺伝子検査学、遺伝子検査学実習を修得すること。</p>
航空技術危機管理学科	16 単位以上	104 単位以上	124 単位以上	<ol style="list-style-type: none"> 1. 必修科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保健]から1単位以上、修得すること。 3. 日本語を母国語とする学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より各1単位以上、合計4単位以上修得すること。 4. 日本語を母国語としない学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より日本語科目8単位を修得すること。
動物危機管理学科	16 単位以上	104 単位以上	124 単位以上	<ol style="list-style-type: none"> 1. 必修科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保健]から1単位以上、修得すること。 3. 日本語を母国語とする学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より各1単位以上、合計4単位以上修得すること。 4. 日本語を母国語としない学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より日本語科目8単位を修得すること。

※同一名称科目を除く他学科の専攻科目は、授業の担当教員、所属学科長及び教務課で承認を得れば履修することができ、修得した単位は36単位まで進級・卒業に必要な専攻科目の単位に加えることができる。

[平成 30 (2018) 年度入学生 (危機管理学部) 進級・卒業要件]

i) 2 年次進級要件

2 年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

学 科	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理システム学科			24 単位以上	日本語を母国語としない学生は、日本語能力試験 N 2 に合格すること。 または BJT ビジネス日本語能力テスト 400 点以上、もしくは J. Test 実用日本語検定 575 点以上を取得すること。
環境危機管理学科			24 単位以上	
医療危機管理学科			24 単位以上	
航空技術危機管理学科			24 単位以上	
動物危機管理学科			24 単位以上	

ii) 3 年次進級要件

3 年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

学部	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理学部			64 単位以上	

iii) 4 年次進級要件

4 年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

学 科	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理システム学科			104 単位以上	3 年次までの必修科目と、1 年次の外国語科目をすべて修得すること。 ただしエアラインパイロットプログラムを受講の学生は、合計 96 単位以上修得すること。
環境危機管理学科			104 単位以上	
医療危機管理学科			104 単位以上	
航空技術危機管理学科			104 単位以上	
動物危機管理学科			104 単位以上	

iv) 卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

※卒業要件合計 124 単位以上のうち、一般基礎科目 16 単位以上及び専攻科目 104 単位以上必要であるため、残り 4 単位以上は一般基礎科目及び専攻科目のどちらから修得してもかまわない。

学 科	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理システム学科	16 単位以上	104 単位以上	124 単位以上	1. 必修科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化]から 1 単位以上、[歴史と社会]から 1 単位以上、[保健]から 1 単位以上、修得すること。 3. 日本語を母国語とする学生は[外国語 I ~ IV]より各 1 単位以上、合計 4 単位以上修得すること。 4. 日本語を母国語としない学生は[外国語 I ~ IV]より日本語科目 8 単位を修得すること。
環境危機管理学科	16 単位以上	104 単位以上	124 単位以上	1. 必修科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化]から 1 単位以上、[歴史と社会]から 1 単位以上、[保健]から 1 単位以上、修得すること。 3. 日本語を母国語とする学生は[外国語 I ~ IV]より各 1 単位以上、合計 4 単位以上修得すること。 4. 日本語を母国語としない学生は[外国語 I ~ IV]より日本語科目 8 単

				<p>位を修得すること。</p> <p>5. 環境科学コースの学生は、[環境科学コース専門科目]から、環境科学ゼミナールⅠ、環境科学ゼミナールⅡ、環境科学演習Ⅰ、環境科学演習Ⅱ、環境科学特別演習Ⅰ、環境科学特別演習Ⅱを修得すること。</p> <p>6. 理科教員コースの学生は、[学科基礎科目]から物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験、[理科教員コース専門科目]からすべての科目を修得すること。</p>
医療危機管理学科	16 単位以上	104 単位以上	124 単位以上	<p>1. 必修科目をすべて修得すること。</p> <p>2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保健]から1単位以上、修得すること。</p> <p>3. 日本語を母国語とする学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より各1単位以上、合計4単位以上修得すること。</p> <p>4. 日本語を母国語としない学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より日本語科目8単位を修得すること。</p> <p>5. 臨床工学コースの学生は、[学科基礎科目]から基礎数学演習、応用数学、応用数学演習、物理学Ⅰ、物理学Ⅱ、生物学Ⅱ、物理学実験、[学科基礎医学科目]から医用工学概論、医用工学実習、[臨床検査学・臨床工学共通専門科目]から臨床病態学Ⅰ、臨床病態学Ⅱ、臨床病態学Ⅲ、[臨床工学コース専門科目]から、プログラミング又はコンピュータグラフィックスを修得すること。</p> <p>6. 臨床検査学コースの学生は、[学科基礎科目]から、物理学Ⅰ、化学Ⅰ、化学Ⅱ、生物学Ⅱ、物理学実験、化学実験、[学科基礎医学科目]から放射化学、医用工学概論、医用工学実習、[臨床検査学・臨床工学共通専門科目]から生理学実習、生化学実習、[臨床検査学コース専門科目]から解剖学実習、遺伝子検査学、遺伝子検査学実習を修得すること。</p>
航空技術危機管理学科	16 単位以上	104 単位以上	124 単位以上	<p>1. 必修科目をすべて修得すること。</p> <p>2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保健]から1単位以上、修得すること。</p> <p>3. 日本語を母国語とする学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より各1単位以上、合計4単位以上修得すること。</p> <p>4. 日本語を母国語としない学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より日本語科目8単位を修得すること。</p>
動物危機管理学科	16 単位以上	104 単位以上	124 単位以上	<p>1. 必修科目をすべて修得すること。</p> <p>2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保健]から1単位以上、修得すること。</p> <p>3. 日本語を母国語とする学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より各1単位以上、合計4単位以上修得すること。</p> <p>4. 日本語を母国語としない学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より日本語科目8単位を修得すること。</p>

※同一名称科目を除く他学科の専攻科目は、授業の担当教員、所属学科長及び教務課で承認を得れば履修することができ、修得した単位は36単位まで進級・卒業に必要な専攻科目の単位に加えることができる。ただし環境危機管理学科の理科教員コースはこの36単位のうち、教職科目の5単位までを卒業に必要な専攻科目の単位に加えることができる。

[平成 29 (2017) 年度入学生 (危機管理学部) 進級・卒業要件]

i) 2 年次進級要件

2 年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

学部	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理学部			24 単位以上	日本語を母国語としない学生は、日本語能力試験 N 2 を取得すること。

ii) 3 年次進級要件

3 年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

学部	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理学部			64 単位以上	

iii) 4 年次進級要件

4 年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

学 科	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理システム学科			104 単位以上	
環境危機管理学科			104 単位以上	
医療危機管理学科			104 単位以上	3 年次までの必修科目と、1 年次の外国語科目をすべて修得すること。
航空技術危機管理学科			104 単位以上	3 年次までの必修科目と、1 年次の外国語科目をすべて修得すること。 ただしエアラインパイロットプログラムを受講の学生は、事業用操縦士資格を取得し、合計 9 6 単位以上修得すること。
動物危機管理学科			104 単位以上	3 年次までの必修科目と、1 年次の外国語科目をすべて修得すること。

iv) 卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

※卒業要件合計 124 単位以上のうち、一般基礎科目 16 単位以上及び専攻科目 104 単位以上必要であるため、残り 4 単位以上は一般基礎科目及び専攻科目のどちらから修得してもかまわない。

学 科	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理システム学科	16 単位以上	104 単位以上	124 単位以上	1. 必修科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化]から 1 単位以上、[歴史と社会]から 1 単位以上、[保健]から 1 単位以上、修得すること。 3. 日本語を母国語とする学生は[外国語 I ~ IV]より各 1 単位以上、合計 4 単位以上修得すること。 4. 日本語を母国語としない学生は[外国語 I ~ IV]より日本語科目 8 単位を修得すること。
環境危機管理学科	16 単位以上	104 単位以上	124 単位以上	1. 必修科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化]から 1 単位以上、[歴史と社会]から 1 単位以上、[保健]から 1 単位以上、修得すること。 3. 日本語を母国語とする学生は[外国語 I ~ IV]より各 1 単位以上、合計 4 単位以上修得すること。 4. 日本語を母国語としない学生は[外国語 I ~ IV]より日本語科目 8 単位を修得すること。 5. 環境科学コースの学生は、[環境科学コース専門科目]から、環境科学ゼミナール I、環境科学ゼミナール II、環境科学演習 I、環境科学演習 II、環境科学特別演習 I、環境科学特別演習 II を修得すること。 6. 理科教員コースの学生は、[学科基礎科目]から物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験、[理科教員コース専門科目]からすべて

				の科目を修得すること。
医療危機管理学科	16 単位 以上	104 単位 以上	124 単位 以上	<ol style="list-style-type: none"> 1. 必修科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保健]から1単位以上、修得すること。 3. 日本語を母国語とする学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より各1単位以上、合計4単位以上修得すること。 4. 日本語を母国語としない学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より日本語科目8単位を修得すること。 5. 臨床工学コースの学生は、[学科基礎科目]から基礎数学演習、応用数学、応用数学演習、物理学Ⅰ、物理学Ⅱ、生物学Ⅱ、物理学実験、[学科基礎医学科目]から医用工学概論、医用工学実習、[臨床検査学・臨床工学共通専門科目]から臨床病態学Ⅰ、臨床病態学Ⅱ、臨床病態学Ⅲ、[臨床工学コース専門科目]から、プログラミング又はコンピュータグラフィックスを修得すること。 6. 臨床検査学コースの学生は、[学科基礎科目]から、物理学Ⅰ、化学Ⅰ、化学Ⅱ、生物学Ⅱ、物理学実験、化学実験、[学科基礎医学科目]から放射化学、医用工学概論、医用工学実習、[臨床検査学・臨床工学共通専門科目]から生理学実習、生化学実習、[臨床検査学コース専門科目]から解剖学実習、遺伝子検査学、遺伝子検査学実習を修得すること。
航空技術危機管理学科	16 単位 以上	104 単位 以上	124 単位 以上	<ol style="list-style-type: none"> 1. 必修科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保健]から1単位以上、修得すること。 3. 日本語を母国語とする学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より各1単位以上、合計4単位以上修得すること。 4. 日本語を母国語としない学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より日本語科目8単位を修得すること。
動物危機管理学科	16 単位 以上	104 単位 以上	124 単位 以上	<ol style="list-style-type: none"> 1. 必修科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保健]から1単位以上、修得すること。 3. 日本語を母国語とする学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より各1単位以上、合計4単位以上修得すること。 4. 日本語を母国語としない学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より日本語科目8単位を修得すること。

※同一名称科目を除く他学科の専攻科目は、授業の担当教員、所属学科長及び教務課で承認を得れば履修することができ、修得した単位は36単位まで進級・卒業に必要な専攻科目の単位に加えることができる。ただし環境危機管理学科の理科教員コースはこの36単位のうち、教職科目の5単位までを卒業に必要な専攻科目の単位に加えることができる。

[平成 27～28 (2015～2016) 年度入学生 (危機管理学部) 進級・卒業要件]

i) 2 年次進級要件

2 年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

学部	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理学部			24 単位以上	日本語を母国語としない学生は、日本語能力試験 N 2 を取得すること。

ii) 3 年次進級要件

3 年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

学部	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理学部			64 単位以上	

iii) 4 年次進級要件

4 年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

学 科	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理システム学科			104 単位以上	
環境危機管理学科			104 単位以上	
医療危機管理学科			104 単位以上	3 年次までの必修科目と、1 年次の外国語科目をすべて修得すること。
工学技術危機管理学科			104 単位以上	3 年次までの必修科目と、1 年次の外国語科目をすべて修得すること。 ただしエアラインパイロットプログラムを受講の学生は、事業用操縦士資格を取得し、合計 9 6 単位以上修得すること。
動物危機管理学科			104 単位以上	3 年次までの必修科目と、1 年次の外国語科目をすべて修得すること。

iv) 卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

※卒業要件合計 124 単位以上のうち、一般基礎科目 16 単位以上及び専攻科目 104 単位以上必要であるため、残り 4 単位以上は一般基礎科目及び専攻科目のどちらから修得してもかまわない。

学 科	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理システム学科	16 単位以上	104 単位以上	124 単位以上	1. 必修科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化]から 1 単位以上、[歴史と社会]から 1 単位以上、[保健]から 1 単位以上、修得すること。 3. 日本語を母国語とする学生は[外国語 I～IV]より各 1 単位以上、合計 4 単位以上修得すること。 4. 日本語を母国語としない学生は[外国語 I～IV]より日本語科目 8 単位を修得すること。
環境危機管理学科	16 単位以上	104 単位以上	124 単位以上	1. 必修科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化]から 1 単位以上、[歴史と社会]から 1 単位以上、[保健]から 1 単位以上、修得すること。 3. 日本語を母国語とする学生は[外国語 I～IV]より各 1 単位以上、合計 4 単位以上修得すること。 4. 日本語を母国語としない学生は[外国語 I～IV]より日本語科目 8 単位を修得すること。 5. 環境科学コースの学生は、[環境科学コース専門科目]から、環境科学ゼミナール I、環境科学ゼミナール II、環境科学演習 I、環境科学演習 II、環境科学特別演習 I、環境科学特別演習 II を修得すること。 6. 理科教員コースの学生は、[学科基礎科目]から物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験、[理科教員コース専門科目]からすべて

				の科目を修得すること。
医療危機管理学科	16 単位 以上	104 単位 以上	124 単位 以上	<ol style="list-style-type: none"> 1. 必修科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保体]から1単位以上、修得すること。 3. 日本語を母国語とする学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より各1単位以上、合計4単位以上修得すること。 4. 日本語を母国語としない学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より日本語科目8単位を修得すること。 5. 臨床工学コースの学生は、[学科基礎科目]から基礎数学演習、応用数学、応用数学演習、物理学Ⅰ、物理学Ⅱ、生物学Ⅱ、物理学実験、[学科基礎医学科目]から医用工学概論、医用工学実習、[臨床検査学・臨床工学共通専門科目]から臨床病態学Ⅰ、臨床病態学Ⅱ、臨床病態学Ⅲ、[臨床工学コース専門科目]から、プログラミング又はコンピュータグラフィックスを修得すること。 6. 臨床検査学コースの学生は、[学科基礎科目]から、物理学Ⅰ、化学Ⅰ、化学Ⅱ、生物学Ⅱ、物理学実験、化学実験、[学科基礎医学科目]から放射化学、医用工学概論、医用工学実習、[臨床検査学・臨床工学共通専門科目]から生理学実習、生化学実習、[臨床検査学コース専門科目]から解剖学実習を修得すること。
工学技術危機管理学科	16 単位 以上	104 単位 以上	124 単位 以上	<ol style="list-style-type: none"> 1. 必修科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保体]から1単位以上、修得すること。 3. 日本語を母国語とする学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より各1単位以上、合計4単位以上修得すること。 4. 日本語を母国語としない学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より日本語科目8単位を修得すること。
動物危機管理学科	16 単位 以上	104 単位 以上	124 単位 以上	<ol style="list-style-type: none"> 1. 必修科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保体]から1単位以上、修得すること。 3. 日本語を母国語とする学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より各1単位以上、合計4単位以上修得すること。 4. 日本語を母国語としない学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より日本語科目8単位を修得すること。

※同一名称科目を除く他学科の専攻科目は、授業の担当教員、所属学科長及び教務課で承認を得れば履修することができ、修得した単位は36単位まで進級・卒業に必要な専攻科目の単位に加えることができる。ただし環境危機管理学科の理科教員コースはこの36単位のうち、教職科目の15単位までを卒業に必要な専攻科目の単位に加えることができる。(2016年度生は、教職科目の5単位までを卒業に必要な専攻科目の単位に加えることができる。)

[平成 26 (2014) 年度入学生 (危機管理学部) 進級・卒業要件]

i) 2 年次進級要件

2 年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

学科	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理システム学科			24 単位以上	
環境危機管理学科			24 単位以上	
医療危機管理学科			24 単位以上	解剖学Ⅰ、解剖学Ⅱ、生理学Ⅰ、生理学Ⅱ、生化学Ⅰ、生化学Ⅱの6科目を修得すること。
工学技術危機管理学科			24 単位以上	
動物危機管理学科			24 単位以上	

※日本語を母国語としない学生は、日本語能力試験N2を取得すること。

ii) 3 年次進級要件

3 年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

学部	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理学部			64 単位以上	

iii) 4 年次進級要件

4 年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

学 科	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理システム学科			104 単位以上	3 年次までの必修科目と、1 年次の外国語科目をすべて修得すること。
環境危機管理学科			104 単位以上	3 年次までの必修科目と、1 年次の外国語科目をすべて修得すること。
医療危機管理学科			104 単位以上	3 年次までの必修科目と、1 年次の外国語科目をすべて修得すること。
工学技術危機管理学科			104 単位以上	3 年次までの必修科目と、1 年次の外国語科目をすべて修得すること。ただしエアラインパイロットプログラムを受講の学生は、事業用操縦士資格を取得し、合計 96 単位以上修得すること。
動物危機管理学科			104 単位以上	3 年次までの必修科目と、1 年次の外国語科目をすべて修得すること。

iv) 卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

※卒業要件合計 124 単位以上のうち、一般基礎科目 16 単位以上及び専攻科目 104 単位以上必要であるため、残り 4 単位以上は一般基礎科目及び専攻科目のどちらから修得してもかまわない。

学 科	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理システム学科	16 単位以上	104 単位以上	124 単位以上	1. 必修科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保体]から1単位以上、修得すること。 3. 日本語を母国語とする学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より各1単位以上、合計4単位以上修得すること。 4. 日本語を母国語としない学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より日本語科目8単位を修得すること。
環境危機管理学科	16 単位以上	104 単位以上	124 単位以上	1. 必修科目をすべて修得すること。 2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保体]から1単位以上、修得すること。 3. 日本語を母国語とする学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より各1単位以上、合

				<p>計4単位以上修得すること。</p> <p>4. 日本語を母国語としない学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より日本語科目8単位を修得すること。</p> <p>5. 環境科学コースの学生は、[環境科学コース専門科目]から、環境科学ゼミナールⅠ、環境科学ゼミナールⅡ、環境科学演習Ⅰ、環境科学演習Ⅱ、環境科学特別演習Ⅰ、環境科学特別演習Ⅱを修得すること。</p> <p>6. 理科教員コースの学生は、[学科基礎科目]から物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験、[理科教員コース専門科目]からすべての科目を修得すること。</p>
医療危機管理学科	16 単位以上	104 単位以上	124 単位以上	<p>1. 必修科目をすべて修得すること。</p> <p>2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保体]から1単位以上、修得すること。</p> <p>3. 日本語を母国語とする学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より各1単位以上、合計4単位以上修得すること。</p> <p>4. 日本語を母国語としない学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より日本語科目8単位を修得すること。</p> <p>5. 臨床工学コースの学生は、[学科基礎科目]から基礎数学演習、応用数学、応用数学演習、物理学Ⅰ、物理学Ⅱ、生物学Ⅱ、物理学実験、[学科基礎医学科目]から医用工学概論、医用工学実習、[臨床検査学・臨床工学共通専門科目]から臨床病態学Ⅰ、臨床病態学Ⅱ、臨床病態学Ⅲ、[臨床工学コース専門科目]から、プログラミング又はコンピュータグラフィックスを修得すること。</p> <p>6. 臨床検査学コースの学生は、[学科基礎科目]から、物理学Ⅰ、化学Ⅰ、化学Ⅱ、生物学Ⅱ、物理学実験、化学実験、[学科基礎医学科目]から放射化学、医用工学概論、医用工学実習、[臨床検査学・臨床工学共通専門科目]から生理学実習、生化学実習、[臨床検査学コース専門科目]から解剖学実習を修得すること。</p>
工学技術危機管理学科	16 単位以上	104 単位以上	124 単位以上	<p>1. 必修科目をすべて修得すること。</p> <p>2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保体]から1単位以上、修得すること。</p> <p>3. 日本語を母国語とする学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より各1単位以上、合計4単位以上修得すること。</p> <p>4. 日本語を母国語としない学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より日本語科目8単位を修得すること。</p>
動物危機管理学科	16 単位以上	104 単位以上	124 単位以上	<p>1. 必修科目をすべて修得すること。</p> <p>2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保体]から1単位以上、修得すること。</p> <p>3. 日本語を母国語とする学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より各1単位以上、合計4単位以上修得すること。</p> <p>4. 日本語を母国語としない学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より日本語科目8単位を修得すること。</p>

※同一名称科目を除く他学科の専攻科目は、授業の担当教員、所属学科長及び教務課で承認を得れば履修することができ、修得した単位は36単位まで進級・卒業に必要な専攻科目の単位に加えることができる。ただし環境危機管理学科の理科教員コースはこの36単位のうち、教職科目の15単位までを卒業に必要な専攻科目の単位に加えることができる。

[平成 25 (2013) 年度入学生 (危機管理学部) 進級・卒業要件]

i) 2 年次進級要件

2 年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

学科	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理システム学科			24 単位以上	
環境危機管理学科			24 単位以上	
医療危機管理学科			24 単位以上	解剖学Ⅰ、解剖学Ⅱ、生理学Ⅰ、生理学Ⅱ、生化学Ⅰ、生化学Ⅱの6科目を修得すること。
工学技術危機管理学科			24 単位以上	
動物危機管理学科			24 単位以上	

ii) 3 年次進級要件

3 年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

学部	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理学部			64 単位以上	

iii) 4 年次進級要件

4 年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

学部	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理学部			104 単位以上	3 年次までの必修科目とすべて修得すること。

iv) 卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

学 科	要 件			条 件
	一般基礎科目	専攻科目	計	
危機管理システム学科	20 単位以上	104 単位以上	124 単位以上	<ol style="list-style-type: none"> 必修科目をすべて修得すること。 [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保健]から1単位以上、3分野合わせて5単位以上修得すること。 卒業までに以下の科目から2科目4単位を必ず修得すること。 本学開講科目：「科学英語Ⅰ」「科学英語Ⅱ」 放送大学開講科目：「中国語入門Ⅰ」「中国語Ⅰ」「中国語入門Ⅱ」「中国語Ⅱ」「ドイツ語入門Ⅰ」「ドイツ語Ⅰ」「ドイツ語入門Ⅱ」「ドイツ語Ⅱ」「韓国語入門Ⅰ」「韓国語入門Ⅱ」 外国人留学生が、日本語教育科目4科目12単位をすべて修得した場合は、外国語必修科目8単位を修得したものとみなす。また、3.の条件についても満たすものとする。尚、外国人留学生が、母国語とする科目を履修することはできない。また、英語を外国語として履修している学生は、3.の条件を適用する。
環境危機管理学科	20 単位以上	104 単位以上	124 単位以上	<ol style="list-style-type: none"> 必修科目をすべて修得すること。 [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保健]から1単位以上、3分野合わせて5単位以上修得すること。 卒業までに以下の科目から2科目4単位を必ず修得すること。 本学開講科目：「科学英語Ⅰ」「科学英語Ⅱ」 放送大学開講科目：「中国語入門Ⅰ」「中国語Ⅰ」「中国語入門Ⅱ」「中国語Ⅱ」「ドイツ語入門Ⅰ」「ドイツ語Ⅰ」「ドイツ語入門Ⅱ」「ドイツ語Ⅱ」「韓国語入門Ⅰ」「韓国語入門Ⅱ」 外国人留学生が、日本語教育科目4科目12単位をすべて修得した場合は、外国語必修科目8単位を修得したものとみなす。また、3.の条件についても満たすものとする。尚、外国人留学生が、母国語

				<p>とする科目を履修することはできない。また、英語を外国語として履修している学生は、3. の条件を適用する。</p> <p>5. 環境科学コースの学生は、[環境科学コース専門科目]から、環境科学ゼミナールⅠ、環境科学ゼミナールⅡ、環境科学演習Ⅰ、環境科学演習Ⅱ、環境科学特別演習Ⅰ、環境科学特別演習Ⅱを修得すること。</p> <p>6. 理科教員コースの学生は、[学科基礎科目]から物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験、[理科教員コース専門科目]からすべての科目を修得すること。</p>
医療危機管理学科	20 単位以上	104 単位以上	124 単位以上	<p>1. 必修科目をすべて修得すること。</p> <p>2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保体]から1単位以上、3分野合わせて5単位上修得すること。</p> <p>3. 卒業までに以下の科目から2科目4単位を必ず修得すること。 本学開講科目：「科学英語Ⅰ」「科学英語Ⅱ」 放送大学開講科目：「中国語入門Ⅰ」「中国語Ⅰ」「中国語入門Ⅱ」「中国語Ⅱ」「ドイツ語入門Ⅰ」「ドイツ語Ⅰ」「ドイツ語入門Ⅱ」「ドイツ語Ⅱ」「韓国語入門Ⅰ」「韓国語入門Ⅱ」</p> <p>4. 外国人留学生が、日本語教育科目4科目12単位をすべて修得した場合は、外国語必修科目8単位を修得したものとみなす。また、3. の条件についても満たすものとする。尚、外国人留学生が、母国語とする科目を履修することはできない。また、英語を外国語として履修している学生は、3. の条件を適用する。</p> <p>5. 臨床工学コースの学生は、[共通基礎科目]から必修科目を含む計20単位以上、[学科基礎科目]から基礎数学演習、応用数学、応用数学演習、物理学Ⅰ、物理学Ⅱ、生物学Ⅱ、物理学実験、[学科基礎医学科目]から医用工学概論、医用工学実習、[臨床検査学・臨床工学共通専門科目]から臨床病態学Ⅰ、臨床病態学Ⅱ、臨床病態学Ⅲ、[臨床工学コース専門科目]から、プログラミング又はコンピュータグラフィックスを修得すること。</p> <p>6. 臨床検査学コースの学生は、[学科基礎科目]から、物理学Ⅰ、化学Ⅰ、化学Ⅱ、生物学Ⅱ、物理学実験、化学実験、[学科基礎医学科目]から放射化学、医用工学概論、医用工学実習、[臨床検査学・臨床工学共通専門科目]から生理学実習、生化学実習、[臨床検査学コース専門科目]から解剖学実習を修得すること。</p>
工学技術危機管理学科	20 単位以上	104 単位以上	124 単位以上	<p>1. 必修科目をすべて修得すること。</p> <p>2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保体]から1単位以上、3分野合わせて5単位上修得すること。</p> <p>3. 卒業までに以下の科目から2科目4単位を必ず修得すること。 本学開講科目：「科学英語Ⅰ」「科学英語Ⅱ」 放送大学開講科目：「中国語入門Ⅰ」「中国語Ⅰ」「中国語入門Ⅱ」「中国語Ⅱ」「ドイツ語入門Ⅰ」「ドイツ語Ⅰ」「ドイツ語入門Ⅱ」「ドイツ語Ⅱ」「韓国語入門Ⅰ」「韓国語入門Ⅱ」</p> <p>4. 外国人留学生が、日本語教育科目4科目12単位をすべて修得した場合は、外国語必修科目8単位を修得したものとみなす。また、3. の条件についても満たすものとする。尚、外国人留学生が、母国語とする科目を履修することはできない。また、英語を外国語として履修している学生は、3. の条件を適用する。</p>
動物危機管理学科	20 単位以上	104 単位以上	124 単位以上	<p>1. 必修科目をすべて修得すること。</p> <p>2. [人間と文化]から1単位以上、[歴史と社会]から1単位以上、[保体]から1単位以上、3分野合わせて5単位上修得すること。</p> <p>3. 卒業までに以下の科目から2科目4単位を必ず修得すること。 本学開講科目：「科学英語Ⅰ」「科学英語Ⅱ」 放送大学開講科目：「中国語入門Ⅰ」「中国語Ⅰ」「中国語入門Ⅱ」「中国語Ⅱ」「ドイツ語入門Ⅰ」「ドイツ語Ⅰ」「ドイツ語入門Ⅱ」「ドイツ語Ⅱ」「韓国語入門Ⅰ」「韓国語入門Ⅱ」</p> <p>4. 外国人留学生が、日本語教育科目4科目12単位をすべて修得した場合は、外国語必修科目8単位を修得したものとみなす。また、3. の条件についても満たすものとする。尚、外国人留学生が、母国語とする科目を履修することはできない。また、英語を外国語として履修している学生は、3. の条件を適用する。</p>

※同一名称科目を除く他学科の専攻科目は、授業の担当教員、所属学科長及び教務課で承認を得れば履修することができ、修得した単位は36単位まで進級・卒業に必要な専攻科目の単位に加えることができる。ただし環境危機管理学科の理科教員コースはこの36単位のうち、教職科目の15単位までを卒業に必要な専攻科目の単位に加えることができる。

3 看護学部看護学科の進級・卒業要件は次のとおりである。
[令和4(2022)年度以降の入学生(看護学科)進級・卒業要件]

i) 2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。2年次の進級要件を満たしたとしても、その年次に修得すべき単位を修得できなかった場合は卒業が延期になることがある。

区分	系列		要件	
一般基礎科目	人間と文化		10単位以上	
	歴史と社会			
	保体			
	科学と実践			
	外国語Ⅰ～Ⅱ			
専攻科目	専門基礎科目	いのちとからだ・こころを科学する	必修科目を23単位以上	
		いのちを科学する		いのちと生活を科学する
				いのちと社会を科学する
	専門科目	基盤分野看護学		基盤看護学
		発達分野看護学		小児・母性看護学 成人・老年看護学 精神看護学
				広域分野看護学

ii) 3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。3年次の進級要件を満たしたとしても、その年次に修得すべき単位を修得できなかった場合は卒業が延期になることがある。

区分	系列		要件	
一般基礎科目	人間と文化		12単位以上	
	歴史と社会			
	保体			
	科学と実践			
	外国語Ⅰ～Ⅳ			
専攻科目	専門基礎科目	いのちとからだ・こころを科学する	63単位以上	
		いのちを科学する		いのちと生活を科学する
				いのちと社会を科学する
	専門科目	基盤分野看護学		基盤看護学
		発達分野看護学		小児・母性看護学 成人・老年看護学 精神看護学
				広域分野看護学

iii) 卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列		要件		
一般基礎科目	人間と文化		16単位以上		
	歴史と社会				
	保体				
	科学と実践				
	外国語Ⅰ～Ⅳ				
専攻科目	専門基礎科目	いのちとからだ・こころを科学する	108単位以上必修科目の単位をすべて修得すること		
		いのちを科学する		いのちと生活を科学する	
				いのちと社会を科学する	
	いのちの連携			選択科目「いのちと生活Ⅳ(薬と危機管理)」、「医療専門職連携導入」のいずれか1単位以上を含む 29単位以上	
	専門科目	基盤分野看護学		基盤看護学	14単位
		発達分野看護学		小児・母性看護学 成人・老年看護学 精神看護学	42単位
広域分野看護学			在宅・公衆衛生看護学	13単位以上	
統合分野看護学			統合共通看護学1から4単位以上 統合実践看護学から6単位		

※日本語を母国語としない学生は、外国語Ⅰ～Ⅳより日本語科目8単位を修得すること。

[令和 2～3 (2020～2021) 年度の入学生 (看護学科) 進級・卒業要件]

i) 2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列			要件
一般基礎科目	人間と文化			12単位以上
	歴史と社会			
	保体			
	科学と実践			
	外国語 I～II			
専攻科目	専門基礎科目	いのちを科学する	いのちとからだ・こころを科学する	必修科目を17単位以上
			いのちと生活を科学する	
			いのちと社会を科学する	
	専門科目	基盤分野看護学	基盤看護学	

ii) 3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列			要件
一般基礎科目	人間と文化			14単位以上
	歴史と社会			
	保体			
	科学と実践			
	外国語 I～IV			
専攻科目	専門基礎科目	いのちを科学する	いのちとからだ・こころを科学する	40単位以上
			いのちと生活を科学する	
			いのちと社会を科学する	
	専門科目	基盤分野看護学	基盤看護学	
		発達分野看護学	小児・母性看護学 成人・老年看護学 精神看護学	
		広域分野看護学	在宅・公衆衛生看護学	

iii) 卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列			要件	
一般基礎科目	人間と文化			必修科目を含め3単位以上	16単位以上
	歴史と社会			2単位以上	
	保体			1単位以上	
	科学と実践			必修科目を含め2単位以上	
	外国語 I～IV			各1単位以上 合計4単位以上※	
専攻科目	専門基礎科目	いのちを科学する	いのちとからだ・こころを科学する	28単位以上	108単位以上必修科目の単位をすべて修得すること
			いのちと生活を科学する		
			いのちと社会を科学する		
			いのちの連携		
	専門科目	基盤分野看護学	基盤看護学	13単位	
		発達分野看護学	小児・母性看護学 成人・老年看護学 精神看護学	45単位	
		広域分野看護学	在宅・公衆衛生看護学	10単位以上	
	統合分野看護学		統合共通看護学1から3単位以上 統合共通看護学2から必修科目を含め3単位以上 統合実践看護学から5単位		

※日本語を母国語としない学生は、外国語 I～IVより日本語科目8単位を修得すること。

[平成 30～31 (2018～2019) 年度の入学生 (看護学科) 進級・卒業要件]

i) 2年次進級要件

2年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列			要件
一般基礎科目	人間と文化			12単位以上
	歴史と社会			
	保体			
	その他			
	外国語Ⅰ～Ⅱ			
専攻科目	専門基礎科目	いのちを科学する	いのちとからだ・こころを科学する	必修科目を17単位以上
			いのちと生活を科学する	
			いのちと社会を科学する	
	専門科目	基盤分野看護学	基盤看護学	

ii) 3年次進級要件

3年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列			要件
一般基礎科目	人間と文化			14単位以上
	歴史と社会			
	保体			
	その他			
	外国語Ⅰ～Ⅳ			
専攻科目	専門基礎科目	いのちを科学する	いのちとからだ・こころを科学する	40単位以上
			いのちと生活を科学する	
			いのちと社会を科学する	
	専門科目	基盤分野看護学	基盤看護学	
		発達分野看護学	小児・母性看護学 成人・老年看護学 精神看護学	
		広域分野看護学	在宅・公衆衛生看護学	

iii) 卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列			要件	
一般基礎科目	人間と文化			必修科目を含め3単位以上	16単位以上
	歴史と社会			2単位以上	
	保体			1単位以上	
	その他			必修科目を含め2単位以上	
	外国語Ⅰ～Ⅳ			各1単位以上 合計4単位以上※	
専攻科目	専門基礎科目	いのちを科学する	いのちとからだ・こころを科学する	28単位以上	108単位以上必修科目の単位をすべて修得すること
			いのちと生活を科学する		
			いのちと社会を科学する		
			いのちの連携		
	専門科目	基盤分野看護学	基盤看護学	13単位	
		発達分野看護学	小児・母性看護学 成人・老年看護学 精神看護学	45単位	
		広域分野看護学	在宅・公衆衛生看護学	10単位以上	
	統合分野看護学		統合共通看護学1から3単位以上 統合共通看護学2から必修科目を含め3単位以上 統合実践看護学から5単位		

※日本語を母国語としない学生は、外国語Ⅰ～Ⅳより日本語科目8単位を修得すること。

[平成 26～29 (2014～2017) 年度入学生 (看護学科) 進級・卒業要件]

i) 2 年次進級要件

2 年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列			要件
一般基礎科目	人間と文化			12 単位以上
	歴史と社会			
	保体			
	その他			
	外国語 I～II			
専攻科目	専門基礎科目	いのちを科学する	いのちとからだ・こころを科学する	必修科目を 17 単位以上
			いのちと生活を科学する	
			いのちと社会を科学する	
	専門科目	基盤分野看護学	基盤看護学	

ii) 3 年次進級要件

3 年次に進級するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列			要件
一般基礎科目	人間と文化			14 単位以上
	歴史と社会			
	保体			
	その他			
	外国語 I～IV			
専攻科目	専門基礎科目	いのちを科学する	いのちとからだ・こころを科学する	40 単位以上
			いのちと生活を科学する	
			いのちと社会を科学する	
	専門科目	基盤分野看護学	基盤看護学	
		発達分野看護学	小児・母性看護学 成人・老年看護学 精神看護学	
		広域分野看護学	在学・公衆衛生看護学	

iii) 卒業要件

卒業するためには、下記一般基礎科目ならびに専攻科目の要件を満たした単位を修得しなければならない。

区分	系列		要件
一般基礎科目	人間と文化		1 単位以上
	歴史と社会		1 単位以上
	保体		1 単位以上
	その他		必修科目を 2 単位
	外国語 I～IV		各 1 単位以上 合計 4 単位以上※
専攻科目	専門基礎科目		28 単位以上
	専門科目	基盤分野看護学	統合共通看護学 1 から 3 単位以上 統合共通看護学 2 から必修科目を含め 3 単位以上
		発達分野看護学	
		広域分野看護学	
統合分野看護学			
			108 単位以上必修科目をすべて修得すること

※日本語を母国語としない学生は、外国語 I～IV より日本語科目 8 単位を修得すること。